

電 線 共 同 溝 整 備 工 事
(市道1020号線)

数 量 計 算 書

設計数量総括表

工 事 名	電線共同溝整備工事（市道１０２０号線）
工事箇所	越谷市千間台西一丁目地内

工事区分	工 種	種 別	項 目	設 計 数 量	単位	設 計 表 示 数 量	備 考
電 線 共 同 溝	撤去工	舗装版破碎工	舗装版切断	632.34	m	630	
			舗装版破碎積込（C・C・B）	240.55	m ²	240	
			舗装版破碎積込（情報ボックス）	20.43	m ²	20	
			殻運搬処理	14.37	m ³	14	
	開削土工	掘削工	床掘（C・C・B）	520.59	m ³	520	
			床掘（情報ボックス）	18.32	m ³	20	
			埋戻し（C・C・B発生土）	192.01	m ³	190	
		埋戻し工	埋戻し（C・C・B中理砂）	157.75	m ³	160	
			埋戻し（情報ボックス発生土）	10.28	m ³	10	
			埋戻し（情報ボックス中理砂）	1.74	m ³	2	
			残土処理工				
			残土運搬処分	314.14	m ³	310	
	仮設工	土留工	アルミ矢板設置・撤去	1.00	式	1	
	管路工	電力管設置(ECVPφ130)	直管	242.17	m	242	
			曲管	55.70	m	56	
			ダクトスリーブ	27.00	個	27	
			管枕	354.00	個	354	
		電力管設置(ECVPφ125)	直管	25.27	m	25	
			曲管	13.95	m	14	
			ダクトスリーブ	2.00	個	2	
			管枕	54.00	個	54	
		電力管設置(ECVPφ100)	直管	782.39	m	782	
			曲管	185.96	m	186	
			ダクトスリーブ	81.00	個	81	
			管枕	763.00	個	763	

設計数量総括表

工事名	電線共同溝整備工事（市道1020号線）
工事箇所	越谷市千間台西一丁目地内

工事区分	工	種	種	別	項	目	設計数量	単位	設計表示数量	備考
電線共同溝			電力保安通信管設置（VP〔SUDⅡ〕φ100）		直管		243.95	m	244	
					曲管		58.23	m	58	
					ダクトスリーブ		21.00	個	21	
					管枕		360.00	個	360	
			通信管設置（PVφ75）		直管		19.62	m	20	
					ダクトスリーブ		7.00	個	7	
					管枕		20.00	個	20	
			通信管設置（PVφ50）		直管		229.61	m	230	
					曲管		97.65	m	98	
					ダクトスリーブ		16.00	個	16	
					管枕		370.00	個	370	
			信号管設置（PVφ75）		直管		41.05	m	41	
					曲管		18.10	m	18	
					ダクトスリーブ		6.00	個	6	
					管枕		94.00	個	94	
			信号管設置（FEPφ80）		直管		133.20	m	133	
					バルマウス		34.00	個	34	
			共用FA管設置（φ100）		直管		254.81	m	255	
					曲管レス継手		34.00	個	34	
					ヤリトリ継手		4.00	個	4	
					ダクトスリーブ		8.00	個	8	
					管枕		144.00	個	144	

設計数量総括表

工 事 名	電線共同溝整備工事（市道1020号線）
工事箇所	越谷市千間台西一丁目地内

工事区分	工 種	種 別	項 目	設 計 数 量	単位	設 計 表 示 数 量	備 考
電 線 共 同 溝		ボディ管設置（φ150）	直管	247.84	m	248	
			曲管レス継手	29.00	個	29	
			スライド管	4.00	個	4	
			ボルト固定式ロータス管	8.00	個	8	
			ダクトスリーブ	8.00	個	8	
			管枕	280.00	個	280	
			端末部用単管（SUφ50）	16.00	個	16	
			端末部用単管（SUφ30）	24.00	個	24	
	管路付属工	管路付属工	埋設標識シート（W=400）	269.10	m	269	
			埋設標識シート（W=600）	114.10	m	114	
			埋設標識シート（W=150）	121.75	m	122	
			防護鉄板設置（1900×400×16）	31.00	枚	31	
			防護コンクリート①	1.00	箇所	1	
			防護コンクリート②	1.00	箇所	1	
	本体工	プレキャストボックス設置工	特殊部Ⅰ型横断用	2.00	基	2	
			特殊部Ⅰ型車道用横断用	1.00	基	1	
			特殊部Ⅱ型（電力）直上1基	1.00	基	1	
			地上機器柵歩道用	4.00	基	4	
			通信柵接続柵	3.00	基	3	
			分岐柵T-A型	6.00	基	6	
			信号用ハンドホール	6.00	基	6	
			地上機器用調整ブロック395型	2.00	個	2	
			地上機器用調整ブロック445型	6.00	個	6	
			特殊部Ⅱ型（電力）横断用直上1基①	1.00	基	1	
			特殊部Ⅱ型（電力）横断用直上1基①	1.00	基	1	

設計数量総括表

工事名	電線共同溝整備工事（市道1020号線）
工事箇所	越谷市千間台西一丁目地内

工事区分	工種	種別	項目	設計数量	単位	設計表示数量	備考
電線共同溝	安全施設工	照明設備工	街路灯移設（商店街）	3.00	基	3	
	舗装工	歩道部（一般部）	路盤工(t=100mm)	143.36	m2	143	
			表層(t=30mm)	146.90	m2	147	
		歩道部（乗入部）	下層路盤(t=200mm)	45.41	m2	45	
			上層路盤(t=200mm)	45.41	m2	45	
			表層(t=50mm)	45.41	m2	45	
道路改良	支障物撤去工	街路樹撤去（南側）	高木・伐根（60cm以上90cm未満）	5.00	本	5	
			高木・伐根（90cm以上120cm未満）	20.00	本	20	
			高木・伐根（120cm以上150cm未満）	2.00	本	2	
			低木・伐根（30cm以上60cm未満）	270.00	m2	270	
		廃材処分	廃材処分（枝葉、根）	35.75	m3	36	
			高木運搬（枝葉、根）	7.74	t	8	
			高木運搬（幹）	10.66	t	11	
			低木運搬	1.00	台	1	

1. 撤去工
2. 土工
3. 仮設工

【1. 撤去工】									数 量 計 算 書			
舗装版破碎工												
舗装版切断		518.07 + 41.70 + 49.37 + 23.20 =						632.34		m		
濁水处理								=		0.736 m3		
		舗装区分	切断厚	切断延長 (m)				単位量	処理量			
			cm	管路部	特殊部	信号部	合計	m³/100m	m³			
		歩道As13型	3	344.01	34.29	64.90	443.20	0.078	0.346			
		乗入As45型	5	109.60	0.00	0.00	109.60	0.130	0.142			
		車道As52型	12	64.46	15.08	0.00	79.54	0.312	0.248			
								合計	0.736			
舗装版破碎積込 (C・C・B)		118.39 + 45.41 + 58.07 + 14.16 + 4.52 =						240.55		m2		
舗装版破碎積込 (情報ボックス)		13.70 + 6.73 =						20.43		m2		
殻運搬処理		12.79 + 0.41 + 0.97 + 0.20 =						14.37		m3		

土工数量調書〔管路部〕

[illegible]

土工数量調書〔管路部〕

[illegible]

土工計算書〔管路部〕

種別	細別	規格・寸法	断面名 延長	RTE歩1	RTE歩2	RTE歩3	RTE歩4	RTE乗1	RTE乗2	RTE乗3	RTE植1	RTE植2	RTE植3	RTE植4	RTE植5	RTE植6	RTE車1	RTE車2	RTE車3	RTE車4	RTE車5	RT歩1
舗装版切断	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m		2.000 27.16	2.000 53.56	1.000 2.15															2.000 230.18
		乗入As45型 t=5cm	m					2.000 8.80	2.000 36.46	2.000 20.34												
		車道As52型 t=12cm	m														2.000 13.68	2.000 10.20	2.000 21.64	2.000 8.40	2.000 10.54	
舗装版破碎	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m ²		0.941 12.78	0.941 25.20	1.097 2.36															0.565 65.03
		乗入As45型 t=5cm	m ²					1.068 4.70	0.941 17.15	0.941 9.57												
		車道As52型 t=12cm	m ²														1.927 13.18	2.100 10.71	1.927 20.85	1.797 7.55	1.096 5.78	
掘削	床掘	土砂	m ³	1.288 10.52	1.000 13.58	0.927 24.83	0.821 1.77	0.807 3.55	0.626 11.41	0.678 6.90	1.129 3.75	1.535 4.47	1.049 15.68	1.087 4.72	1.120 1.86	1.049 11.98	0.069 0.47		0.243 2.63	0.226 0.95	0.307 1.62	0.588 67.67
		路盤材	m ³		0.094 1.28	0.094 2.52	0.110 0.24	0.427 1.88	0.376 6.85	0.376 3.82							0.771 5.27	0.735 3.75	0.771 8.34	0.719 3.02	0.438 2.31	0.057 6.56
埋戻	土砂	発生土	m ³	0.534 4.36	0.348 4.73	0.348 9.32	0.241 0.52	0.053 0.23	0.047 0.86	0.047 0.48	0.658 2.18	0.860 2.50	0.471 7.04	0.329 1.43	0.474 0.79	0.471 5.38		0.060 0.31	0.096 1.04	0.217 0.91	0.055 0.29	0.294 33.84
	中埋砂	埋戻し用砂	m ³	0.754 6.16	0.652 8.85	0.579 15.51	0.579 1.24	0.754 3.32	0.579 10.56	0.631 6.42	0.471 1.56	0.676 1.97	0.579 8.66	0.758 3.29	0.646 1.07	0.579 6.61	0.532 3.64		0.532 5.76	0.368 1.55	0.471 2.48	0.294 33.84
建設廃材処理	アスファルト塊		m ³		0.028 0.38	0.028 0.75	0.033 0.07	0.053 0.23	0.047 0.86	0.047 0.48							0.231 1.58	0.252 1.29	0.231 2.50	0.216 0.91	0.132 0.70	0.017 1.96
土留	設置・撤去	1.5<H≤2.0	延m																			
		2.0<H≤2.5	亘m																			
		2.5<H≤3.0	亘m																			
舗装復旧工	歩道一般部	歩道As13型	m ²		0.941 12.78	0.941 25.20	1.097 2.36															0.565 65.03
	歩道乗入部	乗入As45型	m ²					1.068 4.70	0.941 17.15	0.941 9.57												
	車道部	車道As52型(暫定)	m ²														1.927 13.18	2.100 10.71	1.927 20.85	1.797 7.55	1.096 5.78	

土工計算書〔管路部〕 ※K歩3については電力管が含まれるため、管路部で計上する。 上段:単位数量
下段:数量

※K歩3については電力管が含まれるため、管路部で計上する。

上段:单位数量
下段:数量

[illegible]

土工計算書〔管路部〕

上段:単位数量
下段:数量

種別	細別	規格・寸法	断面名	K歩1	K歩2	合計
			延長	3.63	17.22	
舗装版切断	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m	2.000 7.26	2.000 34.44	41.70
		乗入As45型 t=5cm	m			0.00
		車道As52型 t=12cm	m			0.00
舗装版破碎	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m ²	0.626 2.27	0.664 11.43	13.70
		乗入As45型 t=5cm	m ²			0.00
		車道As52型 t=12cm	m ²			0.00
掘 削	床掘	土砂	m ³	0.323 1.17	0.347 5.98	7.15
		路盤材	m ³	0.063 0.23	0.066 1.14	1.37
埋 戻	土砂	発生土	m ³	0.232 0.84	0.246 4.24	5.08
	中埋砂	埋戻し用砂	m ³	0.091 0.33	0.101 1.74	2.07
建設廃材処理	アスファルト塊		m ³	0.019 0.07	0.020 0.34	0.41
土 留	設置・撤去	1.5<H≤2.0	延m			0.00
		2.0<H≤2.5	亘m			0.00
		2.5<H≤3.0	亘m			0.00
舗装復旧工	歩道一般部	歩道As13型	m ²	0.626 2.27	0.664 11.43	13.70
	歩道乗入部	乗入As45型	m ²			0.00
	車道部	車道As52型(暫定)	m ²			0.00

土工計算書〔特殊部〕

上段:単位数量
下段:数量

種別	細別	規格・寸法	断面名 箇所数	特Ⅰ1	特Ⅰ4	電Ⅱ1	電Ⅱ2	電Ⅱ3	地樹1	通接1	TA1	TA2	SB1	SB4		合計
				2	1	1	1	1	4	3	1	5	1	2		
舗装版切断	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m							8.880	7.650					34.29
		乗入As45型 t=5cm	m							26.64	7.65					0.00
		車道As52型 t=12cm	m										5.520	4.778		15.08
													5.52	9.56		
舗装版破碎	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m ²							3.762	2.870					14.16
		乗入As45型 t=5cm	m ²							11.29	2.87					0.00
		車道As52型 t=12cm	m ²										1.826	1.345		4.52
													1.83	2.69		
掘削	床掘	土砂	m ³	17.744	32.531	7.738	10.437	15.110	4.817	5.116	2.964	2.898	2.255	0.233		156.11
				35.49	32.53	7.74	10.44	15.11	19.27	15.35	2.96	14.49	2.26	0.47		
		路盤材	m ³			1.693	2.227	3.167	1.813		0.287		0.730	0.538		16.44
						1.69	2.23	3.17	7.25		0.29		0.73	1.08		
埋戻	土砂	発生土	m ³	6.327	13.280	3.806	4.654	5.868	2.371	2.872	1.089	1.194	1.618	0.329		67.70
				12.65	13.28	3.81	4.65	5.87	9.48	8.62	1.09	5.97	1.62	0.66		
	中埋砂	埋戻し用砂	m ³								1.343	1.050				6.59
											1.34	5.25				
建設廃材処理	アスファルト塊		m ³							0.113	0.086		0.219	0.161		0.97
										0.34	0.09		0.22	0.32		
土留	設置・撤去	1.5<H≤2.0	延m	14.320		9.320	11.560	14.720					5.520			69.76
				28.64		9.32	11.56	14.72					5.52			
		2.0<H≤2.5	亘m													0.00
		2.5<H≤3.0	亘m		16.920											16.92
					16.92											
舗装復旧工	歩道一般部	歩道As13型	m ²							2.562	2.210					9.90
										7.69	2.21					
	歩道乗入部	乗入As45型	m ²													0.00
	車道部	車道As52型(暫定)	m ²										1.826	1.345		4.52
													1.83	2.69		
	路盤復旧		m ²							1.830	1.935					7.43
										5.49	1.94					

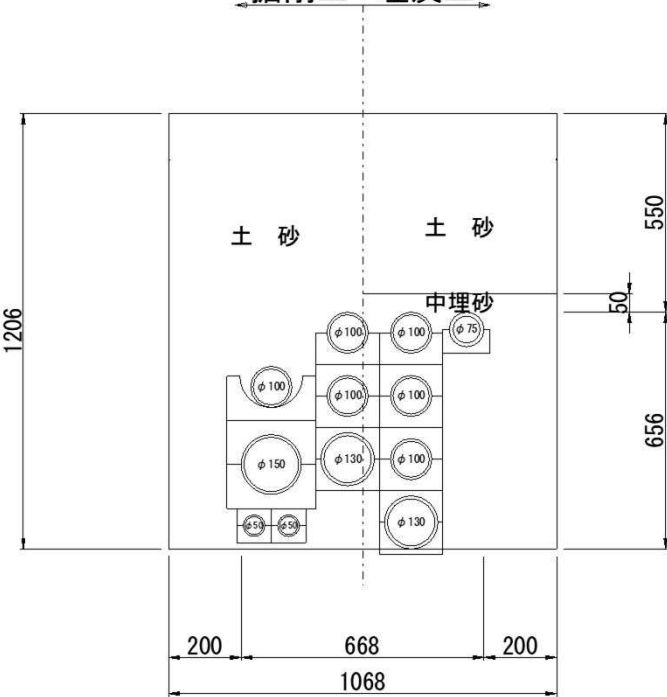
土工計算書〔信号〕

上段:単位数量
下段:数量

種別	細別	規格・寸法	断面名 箇所数	KHH1	KHH2		合計
				5	1		
舗装版切断	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m	4.640 23.20			23.20
		乗入As45型 t=5cm	m				0.00
		車道As52型 t=12cm	m				0.00
舗装版破碎	As t=15cm以下	歩道As13型 t=3cm	m ²	1.346 6.73			6.73
		乗入As45型 t=5cm	m ²				0.00
		車道As52型 t=12cm	m ²				0.00
掘削	床掘	土砂	m ³	1.490 7.45	1.665 1.67		9.12
		路盤材	m ³	0.135 0.68			0.68
埋戻	土砂	発生土	m ³	0.850 4.25	0.950 0.95		5.20
	中埋砂	埋戻し用砂	m ³				0.00
建設廃材処理	アスファルト塊		m ³	0.040 0.20			0.20
土留	設置・撤去	1.5<H≤2.0	延m				0.00
		2.0<H≤2.5	亘m				0.00
		2.5<H≤3.0	亘m				0.00
舗装復旧工	歩道一般部	歩道As13型	m ²	0.982 4.91			4.91
	歩道乗入部	乗入As45型	m ²				0.00
	車道部	車道As52型(暫定)	m ²				0.00
	路盤復旧		m ²	0.768 3.84			3.84

管路控除量計算書

管種	呼び径	管路延長				管外径 (外寸) D mm	管断面積		控除量	備考
		本線管	信号管		合計		算式	面積	埋戻し 中埋砂	
		m	m	m	m			m ²	m ³	
ECVP管 CCVP管	φ 130	304.90			304.90	147.5	$0.1475^2 \times \pi / 4$	0.017	5.183	
	φ 125	39.84			39.84	142.5	$0.1425^2 \times \pi / 4$	0.016	0.637	
	φ 100	990.92			990.92	114.0	$0.1140^2 \times \pi / 4$	0.010	9.909	
SUD II-V管	φ 100	304.89			304.89	114.0	$0.1140^2 \times \pi / 4$	0.010	3.049	
P-V管	φ 75	20.00	60.29		80.29	96.0	$0.0960^2 \times \pi / 4$	0.007	0.562	
	φ 50	330.11			330.11	60.0	$0.0600^2 \times \pi / 4$	0.003	0.990	
FA-V管	φ 100	261.79			261.79	114.0	$0.1140^2 \times \pi / 4$	0.010	2.618	
ボディ-V管	φ 200	0.00			0.00	216.0	$0.2160^2 \times \pi / 4$	0.037	0.000	
	φ 150	261.79			261.79	165.0	$0.1650^2 \times \pi / 4$	0.021	5.498	
FEP管	φ 80		91.50		91.50	102.0	$0.1020^2 \times \pi / 4$	0.008	0.732	
							控除量合計		29.178	
FEP管	φ 80		41.70		41.70	102.0	$0.1020^2 \times \pi / 4$	0.008	0.334	
							控除量合計		0.334	

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE歩1	1 m当り
T1, T2+RE2 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 1.068 \times 0.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.068 \times 1.206 -$	$\times) \times 1.000$	$= 1.288 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.068 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.068 \times 0.500 \times 1.000$		$= 0.534 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.068 \times 0.706 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.754 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 1.068 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 1.068 \times 0.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE歩2	1 m当り
T1, T2+RE1 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 The diagram illustrates the cross-section of a sidewalk. Key dimensions include a total width of 941mm (200mm on each side of a 541mm central section) and a total depth of 1063mm. The top layer is 100mm thick, followed by a 30mm layer. The main body consists of a 550mm deep layer of sand and soil, with a 370mm deep layer of sand and soil below it. A 50mm layer of sand is also shown. The bottom layer is 643mm deep. The diagram also shows the removal of 13-type paving stones and the replacement of 13-type paving stones. The diagram is labeled '掘削工' (excavation) and '埋戻工' (backfilling).				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.941 \times 1.000$	$= 0.941 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 1.063 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 1.000 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.941 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.094 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.370 \times 1.000$		$= 0.348 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.693 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.652 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.028 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.941 \times 1.000$		$= 0.941 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE歩3	1 m当り
T1, T2+RE3 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.941 \times 1.000$	$= 0.941 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 1.041 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$		$= 0.927 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.941 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.094 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.370 \times 1.000$		$= 0.348 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.671 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.579 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.028 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.941 \times 1.000$		$= 0.941 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE歩4	1 m当り
T6+RE4 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 1$	$= 1.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 1.097 \times 1.000$	$= 1.097 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.097 \times 0.748 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.821 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.097 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.110 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.097 \times 0.220 \times 1.000$		$= 0.241 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.097 \times 0.528 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.579 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 1.097 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.033 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 1.097 \times 1.000$		$= 1.097 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE乗1	1 m当り
T1, T2+RE2 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 1.068 \times 1.000$	$= 1.068 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.068 \times 0.756 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.807 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.068 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.427 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.068 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.053 \text{ m}^3$
	中埋砂 (しゃ断層用砂)	$V = (1.068 \times 0.706 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.754 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 1.068 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.053 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 1.068 \times 1.000$		$= 1.068 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE乗2	1 m当り
T1, T2+RE3 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 0.941 \times 1.000$	$= 0.941 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 0.721 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$		$= 0.626 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.941 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.376 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.047 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.671 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.579 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.047 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 0.941 \times 1.000$		$= 0.941 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE乗3	1 m当り
T1, T2+RE5, RE6 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 0.941 \times 1.000$	$= 0.941 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 0.721 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.678 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.941 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.376 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.047 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.671 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.631 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.047 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 0.941 \times 1.000$		$= 0.941 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植1	1 m当り
T6+RE4 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	= 0.000 m
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ²
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.096 \times 1.128 - 0.393 \times 0.273) \times 1.000$		= 1.129 m ³
	路盤材なし	$V = 1.096 \times 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ³
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.096 \times 0.600 \times 1.000$		= 0.658 m ³
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.096 \times 0.528 - 0.393 \times 0.273) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		= 0.471 m ³
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 1.096 \times 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ³
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		= 0.000 m
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ²

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植2	1 m当り
T6+RE4 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工 植樹帯 植樹帯 土 砂 土 砂 中埋砂 φ100 φ130 φ80 φ125 730 703 1033 1433 200 200 1128 1017 111 650 600 50 478 528				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.433 \times 1.128 - 0.730 \times 0.111) \times 1.000$		$= 1.535 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 1.433 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.433 \times 0.600 \times 1.000$		$= 0.860 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.433 \times 0.528 - 0.730 \times 0.111) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.676 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 1.433 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植3	1 m当り
T1, T2+RE3 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 1.171 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$		$= 1.049 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.500 \times 1.000$		$= 0.471 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.671 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.579 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植4	1 m当り
T1, T2+RE3 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 1.221 - 0.376 \times 0.165) \times 1.000$		$= 1.087 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.350 \times 1.000$		$= 0.329 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.871 - 0.376 \times 0.165) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.758 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植5	1 m当り
T1, T2+RE5, RE6 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.116 \times 1.221 - 0.551 \times 0.440) \times 1.000$		$= 1.120 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 1.116 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.116 \times 0.425 \times 1.000$		$= 0.474 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.116 \times 0.796 - 0.551 \times 0.440) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.646 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 1.116 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE植6	1 m当り
T1, T2+RE5, RE6 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.941 \times 1.171 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$		$= 1.049 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.941 \times 0.500 \times 1.000$		$= 0.471 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.941 \times 0.671 - 0.376 \times 0.140) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.579 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.941 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE車1	1 m当り
T6+RE4 車道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$A = 1.927 \times 1.000$	$= 1.927 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.927 \times 0.036 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.069 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.927 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.771 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.927 \times$	$\times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.927 \times 0.276 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.532 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm}$	$V = 1.927 \times 0.120 \times 1.000$	$= 0.231 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 1.927 \times 1.000$		$= 1.927 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE車2	1 m当り
T6+RE4 車道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 ▽将来計画高 撤去52型 As舗装撤去 路盤材撤去 復旧52型(暫定) 舗装復旧 コンクリート防護 土 砂 200 1700 200 2100 200 120 350 470 520 320 150				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$A = 2.100 \times 1.000$	$= 2.100 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (2.100 \times 0.000 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 2.100 \times 0.350 \times 1.000$		$= 0.735 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.400 \times 0.150 \times 1.000$		$= 0.060 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (2.100 \times$	$- 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。	$= 0.000 \text{ m}^3$
	建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm}$ $V = 2.100 \times 0.120 \times 1.000$	$= 0.252 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 2.100 \times 1.000$		$= 2.100 \text{ m}^2$

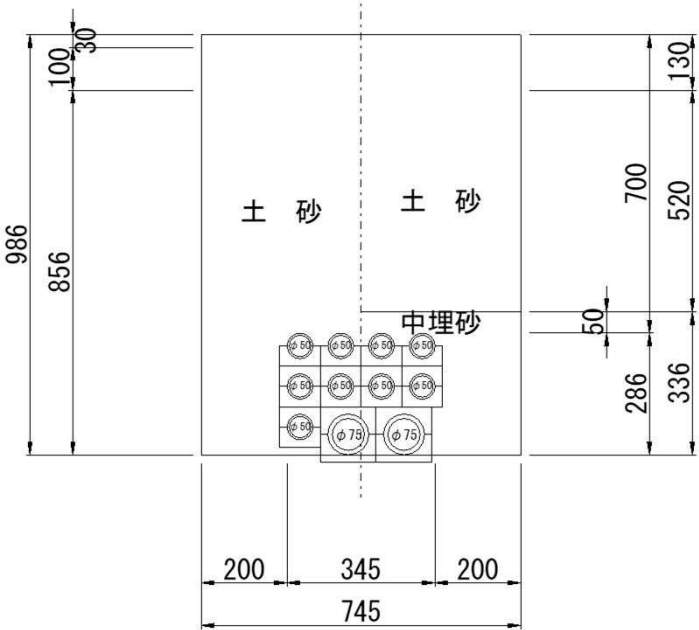
土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE車3	1 m当り
T6+RE4 車道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$A = 1.927 \times 1.000$	$= 1.927 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.927 \times 0.126 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.243 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.927 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.771 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.927 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.096 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.927 \times 0.276 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.532 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm}$	$V = 1.927 \times 0.120 \times 1.000$	$= 0.231 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 1.927 \times 1.000$		$= 1.927 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE車4	1 m当り
T6+RE4 車道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$A = 1.797 \times 1.000$	$= 1.797 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.797 \times 0.126 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.226 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.797 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.719 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.797 \times 0.121 \times 1.000$		$= 0.217 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.797 \times 0.205 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.368 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm}$	$V = 1.797 \times 0.120 \times 1.000$	$= 0.216 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 1.797 \times 1.000$		$= 1.797 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RTE車5	1 m当り
車道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm}$	$A = 1.096 \times 1.000$	$= 1.096 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (1.096 \times 0.378 - 0.393 \times 0.273) \times 1.000$		$= 0.307 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.096 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.438 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.096 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.055 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (1.096 \times 0.528 - 0.393 \times 0.273) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.471 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm}$	$V = 1.096 \times 0.120 \times 1.000$	$= 0.132 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 1.096 \times 1.000$		$= 1.096 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RT歩1	1 m当り
T1, T2 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.565 \times 1.000$	$= 0.565 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.565 \times 1.041 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.588 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.565 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.057 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.565 \times 0.520 \times 1.000$		$= 0.294 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.565 \times 0.521 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.294 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.565 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.017 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.565 \times 1.000$		$= 0.565 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RT歩2	1 m当り
T1, T2 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 The diagram illustrates the cross-section of a sidewalk. Key dimensions include a total width of 955mm and a total depth of 1171mm. The sidewalk is composed of several layers: a top layer of 'As13 type' paving stones (As舗装撤去, 舗装復旧), followed by a layer of '土砂' (soil/sand), and a bottom layer of '中埋砂' (middle fill sand). The diagram also shows the locations of manholes (φ100, φ150) and the placement of 'As13 type' paving stones (As舗装撤去, 舗装復旧). The diagram is labeled '掘削工' (excavation work) and '埋戻工' (backfilling work).				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.955 \times 1.000$	$= 0.955 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.955 \times 1.041 - 0.390 \times 0.519) \times 1.000$		$= 0.792 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.955 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.096 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.955 \times 0.370 \times 1.000$		$= 0.353 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.955 \times 0.671 - 0.390 \times 0.519) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.438 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.955 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.029 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.955 \times 1.000$		$= 0.955 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RT歩3	1 m当り
T6 歩道部(一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.745 \times 0.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.745 \times 0.856 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.638 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.745 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.075 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.745 \times 0.520 \times 1.000$		$= 0.387 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.745 \times 0.336 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.250 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.745 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.745 \times 0.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RT乗1	1 m当り
T1, T2 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 0.565 \times 1.000$	$= 0.565 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.565 \times 0.721 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.407 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.565 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.226 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.565 \times 0.200 \times 1.000$		$= 0.113 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.565 \times 0.521 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.294 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 0.565 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.028 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 0.565 \times 1.000$		$= 0.565 \text{ m}^2$

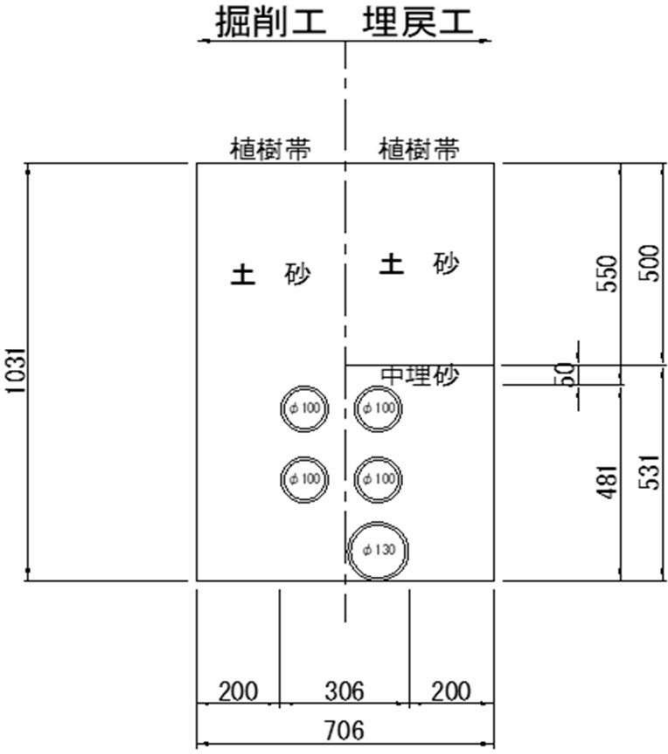
土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE乗1	1 m当り
RE3 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 0.706 \times 1.000$	$= 0.706 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.706 \times 0.581 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.410 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.706 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.282 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.706 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.035 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.706 \times 0.531 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.375 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 0.706 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.035 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 0.706 \times 1.000$		$= 0.706 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE乗2	1 m当り
RE5, RE6 歩道部(乗入部) 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	乗入As45型	$t=5\text{cm}$	$A = 0.706 \times 1.000$	$= 0.706 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.706 \times 0.581 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.410 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.706 \times 0.400 \times 1.000$		$= 0.282 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.706 \times 0.050 \times 1.000$		$= 0.035 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.706 \times 0.531 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.375 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=5\text{cm}$	$V = 0.706 \times 0.050 \times 1.000$	$= 0.035 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	乗入As45型	$A = 0.706 \times 1.000$		$= 0.706 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植1	1 m当り
RE2 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.849 \times 1.206 -$	$\times) \times 1.000$	$= 1.024 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.849 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.849 \times 0.500 \times 1.000$		$= 0.425 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.849 \times 0.550 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.467 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.849 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植2	1 m当り
RE1 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.722 \times 1.193 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.861 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.722 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.722 \times 0.500 \times 1.000$		$= 0.361 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.722 \times 0.693 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.500 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.722 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

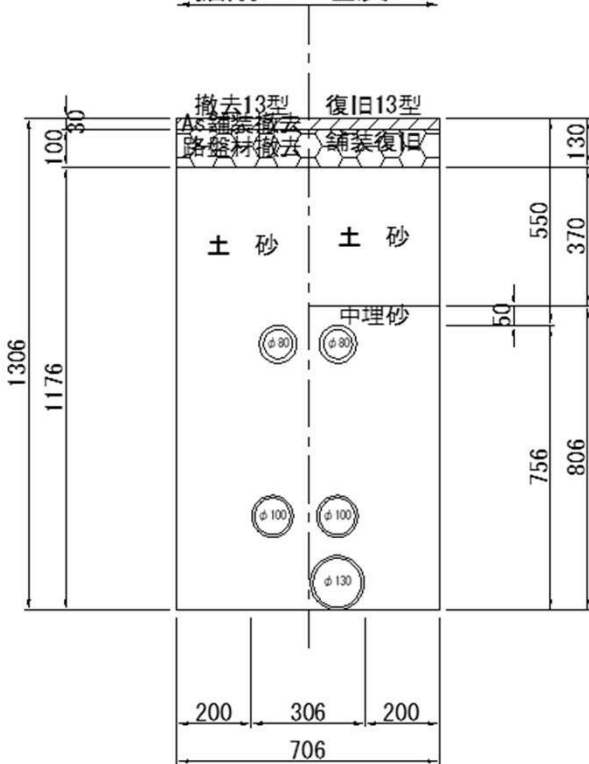
土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植4	1 m当り
RE3 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	= 0.000 m
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ²
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.881 \times 0.781 - \quad \times \quad) \times 1.000$		= 0.688 m ³
	路盤材なし	$V = 0.881 \times 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ³
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.881 \times 0.425 \times 1.000$		= 0.374 m ³
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.881 \times 0.356 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		= 0.314 m ³
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.881 \times 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ³
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		= 0.000 m
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ²

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植5	1 m当り
RE3 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工 				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	= 0.000 m
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ²
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.706 \times 1.031 - \quad \times \quad) \times 1.000$		= 0.728 m ³
	路盤材なし	$V = 0.706 \times 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ³
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.706 \times 0.500 \times 1.000$		= 0.353 m ³
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.706 \times 0.531 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		= 0.375 m ³
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.706 \times 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ³
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		= 0.000 m
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ²

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植6	1 m当り
RE4 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.895 \times 1.231 - 0.348 \times 0.353) \times 1.000$		$= 0.979 \text{ m}^3$
	路盤材なし	$V = 0.895 \times 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.895 \times 0.350 \times 1.000$		$= 0.313 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.895 \times 0.881 - 0.348 \times 0.353) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.666 \text{ m}^3$
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.895 \times 0.000 \times 1.000$	$= 0.000 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		$= 0.000 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	RE植7	1 m当り
RE5 植樹帯 断面図 掘削工 埋戻工				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$L = 1.000 \times 0$	= 0.000 m
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$A = 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ²
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.706 \times 1.031 - \quad \times \quad) \times 1.000$		= 0.728 m ³
	路盤材なし	$V = 0.706 \times 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ³
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.706 \times 0.500 \times 1.000$		= 0.353 m ³
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.706 \times 0.531 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		= 0.375 m ³
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm}$	$V = 0.706 \times 0.000 \times 1.000$	= 0.000 m ³
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		= 0.000 m
舗装復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.000$		= 0.000 m ²

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	K歩1	1 m当り
信号管 (PV) 歩道部 (一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 撤去13型 復旧13型 As舗装撤去 As舗装復旧 路盤材撤去 路盤材復旧 土砂 土砂 中埋砂 φ75 φ75 200 226 200 626 516 370 146 100 30 50 96				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.626 \times 1.000$	$= 0.626 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.626 \times 0.516 -$	$\times) \times 1.000$	$= 0.323 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.626 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.063 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.626 \times 0.370 \times 1.000$		$= 0.232 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.626 \times 0.146 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.091 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.626 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.019 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.626 \times 1.000$		$= 0.626 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔管路部〕		土工断面名	K歩3	1 m当り
信号管 (FEP) 歩道部 (一般部) 断面図 掘削工 埋戻工 				
工 種	規格・寸法	計 算 式		数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$L = 1.000 \times 2$	$= 2.000 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm}$	$A = 0.706 \times 1.000$	$= 0.706 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = (0.706 \times 1.176 - \quad \times \quad) \times 1.000$		$= 0.830 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 0.706 \times 0.100 \times 1.000$		$= 0.071 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 0.706 \times 0.370 \times 1.000$		$= 0.261 \text{ m}^3$
	中埋砂 (埋戻し用砂)	$V = (0.706 \times 0.806 - 0.000 \times 0.000) \times 1.000$ ※ 管断面控除分は、管路控除量計算書で計上。		$= 0.569 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm}$	$V = 0.706 \times 0.030 \times 1.000$	$= 0.021 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = 1.000 \times 0$		$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	歩道As13型	$A = 0.706 \times 1.000$		$= 0.706 \text{ m}^2$

土工数量調書〔特殊部〕

[illegible]

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

特 I 1

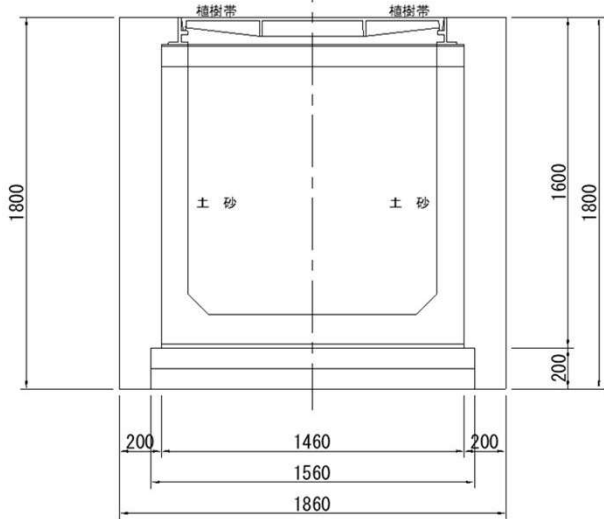
1 箇所当り

特殊部 I 型 (1200×1200×4000, Co)

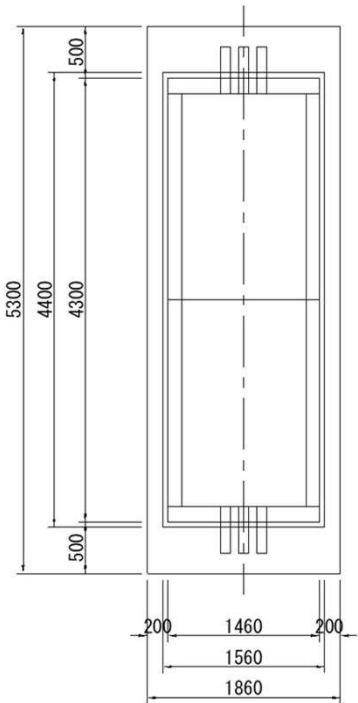
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 1,200 mm

特殊部(L): 4,000 mm

端壁厚: 150 mm

起点側余掘幅: 500 mm

特殊部(H): 1,200 mm

終点側余掘幅: 500 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.860 + 5.300) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 5.300$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂

(機 械)

$$V = 1.860 \times 1.800 \times 5.300 + \quad \times \quad \times 4.400$$

$$= 17.744 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 1.860 \times 0.000 \times 5.300$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂

(発 生 土)

$$V = 1.860 \times 1.800 \times 5.300 - 1.460 \times 1.600 \times 4.300$$

$$- 1.560 \times 0.200 \times 4.400 - \quad^2 \pi / 4 \times$$

$$= 6.327 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.860 \times 0.000 \times 5.300$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

1.5<H≤2.0

$$L = (1.860 + 5.300) \times 2$$

$$= 14.320 \text{ m}$$

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 5.300 - \quad \times \quad - \quad \times$$

$$- \quad^2 \pi / 4 = 0.000 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

特 I 4

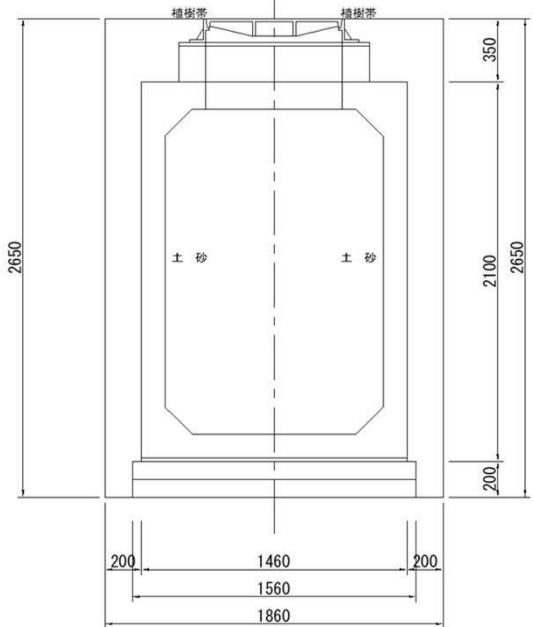
1 箇所当り

特殊部 I 型 (1200 × 1800 × 5300, Co)

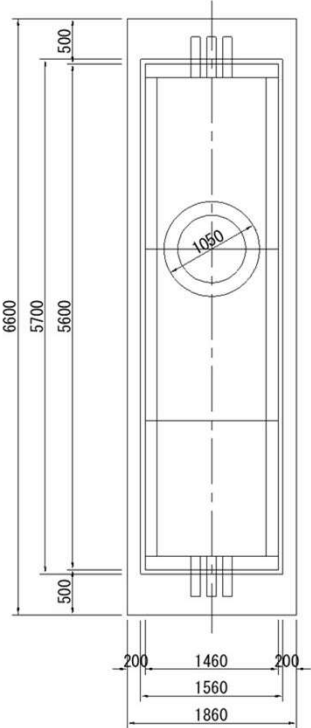
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 1,200 mm
特殊部(H): 1,800 mm

特殊部(L): 5,300 mm

端壁厚: 150 mm

起点側余掘幅: 500 mm

終点側余掘幅: 500 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.860 + 6.600) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 6.600$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂
(機 械)

$$V = 1.860 \times 2.650 \times 6.600 + \quad \times \quad \times 5.700$$

$$= 32.531 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 1.860 \times 0.000 \times 6.600$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$$V = 1.860 \times 2.650 \times 6.600 - 1.460 \times 2.100 \times 5.600 - 1.560 \times 0.200 \times 5.700 - 1.050^2 \pi / 4 \times 0.350$$

$$= 13.280 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.860 \times 0.000 \times 6.600$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

2.5 < H ≤ 3.0

$$L = (1.860 + 6.600) \times 2$$

$$= 16.920 \text{ m}$$

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 6.600 - \quad \times \quad - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / 4$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

電Ⅱ1

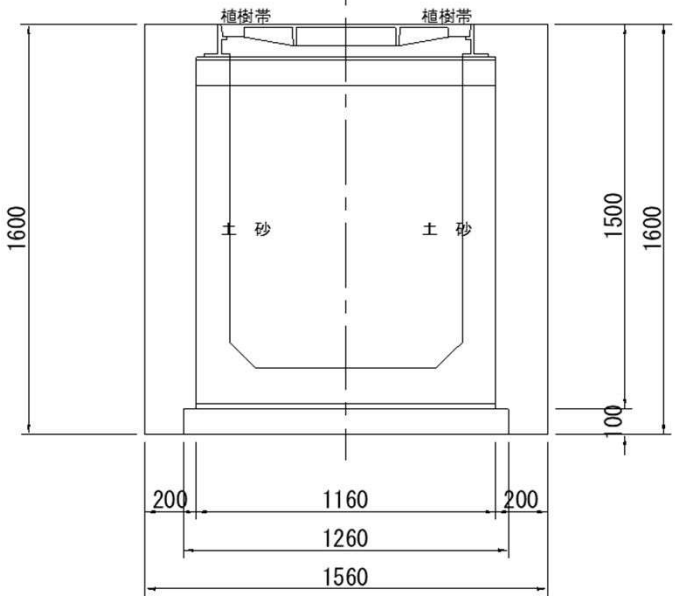
1 箇所当り

電力Ⅱ型(900×1100×1800, Co)

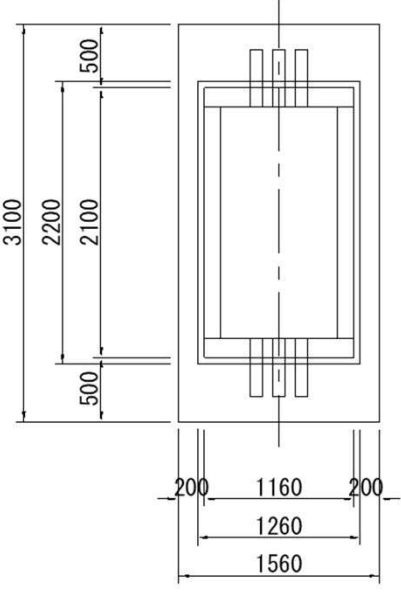
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 900 mm
特殊部(H): 1,100 mm

特殊部(L): 1,800 mm

端壁厚: 150 mm

起点側余掘幅: 500 mm

終点側余掘幅: 500 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.560 + 3.100) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 3.100$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂

(機 械)

$$V = 1.560 \times 1.600 \times 3.100 + \quad \times \quad \times 2.200$$

$$= 7.738 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 1.560 \times 0.350 \times 3.100$$

$$= 1.693 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂

(発 生 土)

$$V = 1.560 \times 1.600 \times 3.100 - 1.160 \times 1.500 \times 2.100 - 1.260 \times 0.100 \times 2.200 - \quad^2 \pi / 4 \times$$

$$= 3.806 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.560 \times 0.000 \times 3.100$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

1.5<H≤2.0

$$L = (1.560 + 3.100) \times 2$$

$$= 9.320 \text{ m}$$

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 3.100 - \quad \times \quad - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / 4 =$$

$$0.000 \text{ m}^2$$

土工单位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

電Ⅱ2

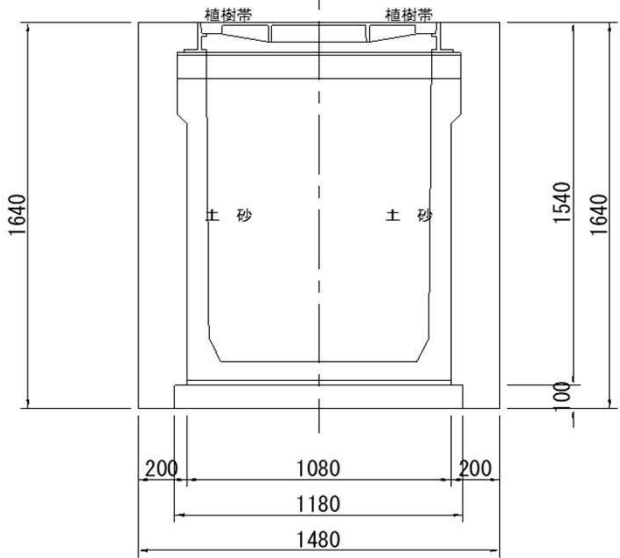
1 箇所当り

電力Ⅱ型 (900 × 1200 × 3000, Re)

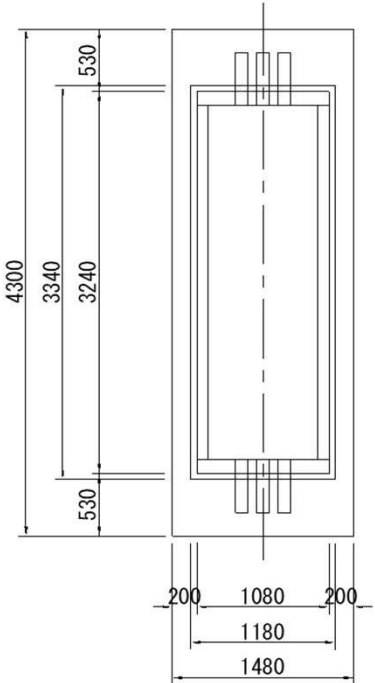
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 900 mm
特殊部(H): 1,200 mm

特殊部(L): 3,000 mm

端壁厚: 120 mm

起点側余掘幅: 530 mm
終点側余掘幅: 530 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.480 + 4.300) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 4.300$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂
(機 械)

$$V = 1.480 \times 1.640 \times 4.300 + \quad \times \quad \times 3.340$$

$$= 10.437 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 1.480 \times 0.350 \times 4.300$$

$$= 2.227 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$$V = 1.480 \times 1.640 \times 4.300 - 1.080 \times 1.540 \times 3.240 - 1.180 \times 0.100 \times 3.340 - \quad^2 \pi / 4 \times$$

$$= 4.654 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.480 \times 0.000 \times 4.300$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

1.5 < H ≤ 2.0

$$L = (1.480 + 4.300) \times 2$$

$$= 11.560 \text{ m}$$

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 4.300 - \quad \times \quad - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / 4 =$$

$$0.000 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

電Ⅱ3

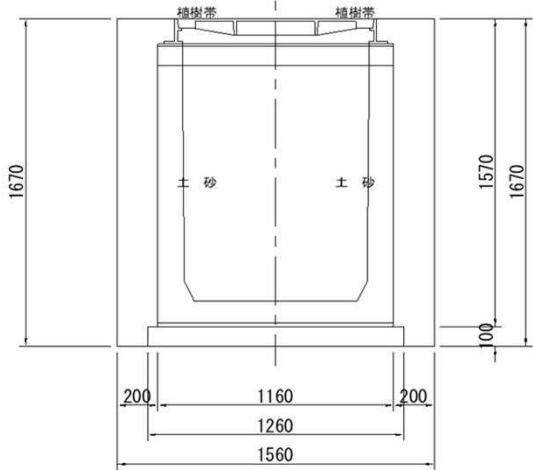
1 箇所当り

電力Ⅱ型 (900×1200×4500, Re)

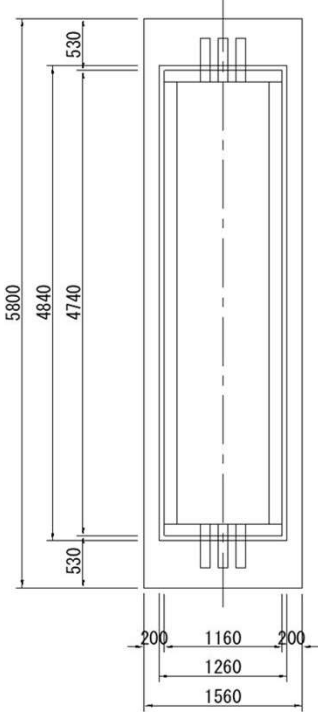
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 900 mm

特殊部(L): 4,500 mm

端壁厚: 120 mm

起点側余掘幅: 530 mm

特殊部(H): 1,200 mm

終点側余掘幅: 530 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.560 + 5.800) \times 0$$

=

0.000 m

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 5.800$$

=

0.000 m²

床 掘

土 砂

(機 械)

$$V = 1.560 \times 1.670 \times 5.800 + \quad \times \quad \times 4.840$$

=

15.110 m³

路盤材なし

$$V = 1.560 \times 0.350 \times 5.800$$

=

3.167 m³

埋 戻

土 砂

(発 生 土)

$$V = 1.560 \times 1.670 \times 5.800 - 1.160 \times 1.570 \times 4.740 - 1.260 \times 0.100 \times 4.840 - \quad^2 \pi / 4 \times$$

=

5.868 m³

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.560 \times 0.000 \times 5.800$$

=

0.000 m³

土 留

1.5<H≤2.0

$$L = (1.560 + 5.800) \times 2$$

=

14.720 m

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 5.800 - \quad \times \quad - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / 4 =$$

=

0.000 m²

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

地樹1

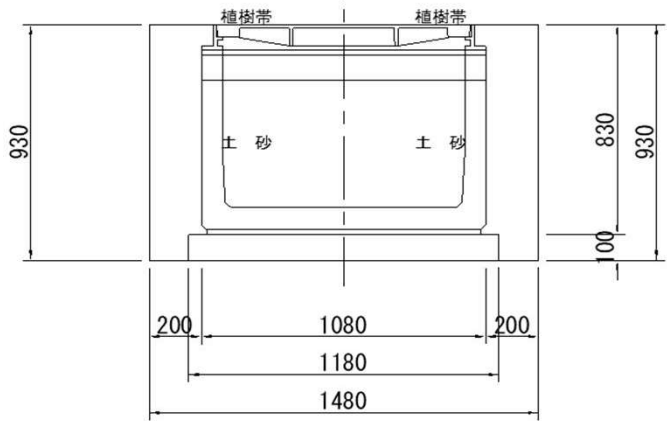
1 箇所当り

地上機器樹 (900 × 500 × 2200, Co)

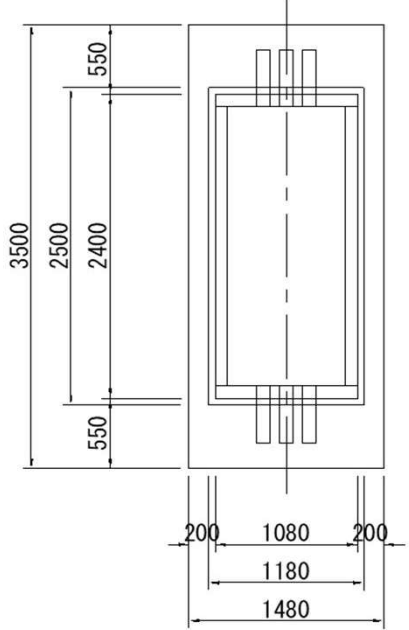
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 900 mm
特殊部(H): 500 mm

特殊部(L): 2,200 mm

端壁厚: 100 mm

起点側余掘幅: 550 mm

終点側余掘幅: 550 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (1.480 + 3.500) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 3.500$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂
(機 械)

$$V = 1.480 \times 0.930 \times 3.500 + \quad \times \quad \times 2.500$$

$$= 4.817 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 1.480 \times 0.350 \times 3.500$$

$$= 1.813 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$$V = 1.480 \times 0.930 \times 3.500 - 1.080 \times 0.830 \times 2.400 - 1.180 \times 0.100 \times 2.500 - \quad^2 \pi / 4 \times$$

$$= 2.371 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 1.480 \times 0.000 \times 3.500$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

必要なし

$$L = (1.480 + 3.500) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

(舗装復旧工)

植樹帯

$$A = 0.000 \times 3.500 - \quad \times \quad - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / 4 =$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

通接1

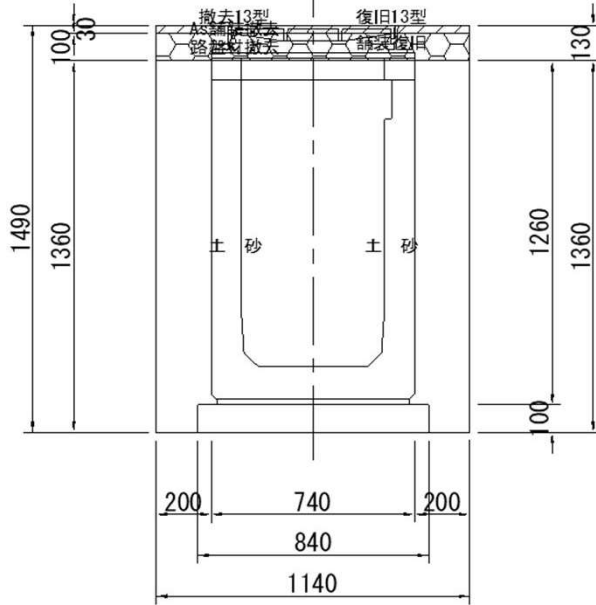
1 箇所当り

通信接続枳 (500×1050×2000, Co)

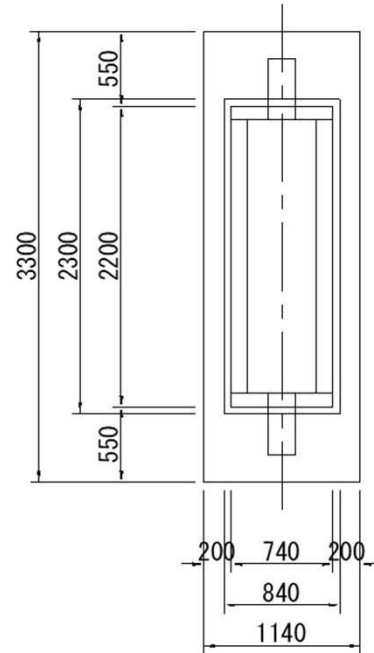
歩道部 (一般部)

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 500 mm
特殊部(H): 1,050 mm

特殊部(L): 2,000 mm

端壁厚: 100 mm

起点側余掘幅: 550 mm
終点側余掘幅: 550 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

歩道As13型

$t=3\text{cm}$ $L = (1.140 + 3.300) \times 2$

= 8.880 m

舗装版破碎

歩道As13型

$t=3\text{cm}$ $A = 1.140 \times 3.300$

= 3.762 m²

床 掘

土 砂
(機 械)

$V = 1.140 \times 1.360 \times 3.300 + \quad \times \quad \times 2.300$

= 5.116 m³

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$V = 1.140 \times 1.360 \times 3.300 - 0.740 \times 1.260 \times 2.200$
 $- 0.840 \times 0.100 \times 2.300 - \quad^2 \pi / 4 \times$

= 2.872 m³

路盤

$A = 3.300 \times 1.140 - 0.840 \times 2.300$

= 1.830 m²

建設廃材処理

アスファルト塊

$t=3\text{cm}$ $V = 1.140 \times 0.030 \times 3.300$

= 0.113 m³

土 留

必要なし

$L = (1.140 + 3.300) \times 0$

= 0.000 m

舗装復旧工

歩道As13型

$A = 1.140 \times 3.300 - 0.600 \times 2.000 - \quad \times$
 $- \quad^2 \pi / 4 =$

= 2.562 m²

路盤復旧工

路盤

$A = 3.300 \times 1.140 - 0.840 \times 2.300$

= 1.830 m²

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

TA1

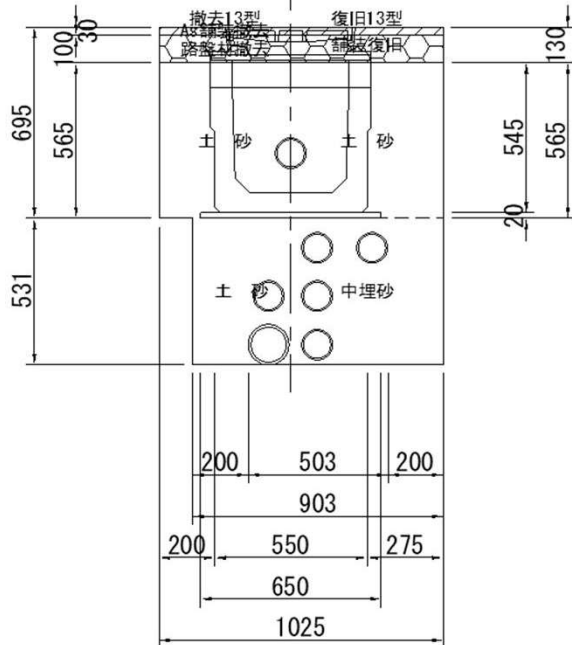
1 箇所当り

分岐樹T-A型(400×380×1500)

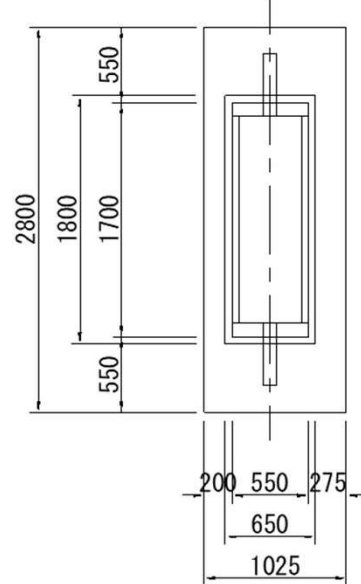
歩道部(一般部)

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 400 mm
特殊部(H): 380 mm

特殊部(L): 1,500 mm

端壁厚: 100 mm

起点側余掘幅: 550 mm

終点側余掘幅: 550 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

歩道As13型

$$t=3\text{cm} \quad L = (1.025 + 2.800) \times 2$$

$$= 7.650 \text{ m}$$

舗装版破碎

歩道As13型

$$t=3\text{cm} \quad A = 1.025 \times 2.800$$

$$= 2.870 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂
(機 械)

$$V = 1.025 \times 0.565 \times 2.800 + \quad \times \quad \times 1.800$$

$$+ 0.903 \times 0.531 \times 2.800 = 2.964 \text{ m}^3$$

路盤材

$$V = 1.025 \times 0.100 \times 2.800$$

$$= 0.287 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$$V = 1.025 \times 0.565 \times 2.800 - 0.550 \times 0.545 \times 1.700$$

$$- 0.650 \times 0.020 \times 1.800 - \quad^2 \pi / 4 \times \quad = 1.089 \text{ m}^3$$

中埋砂
(しゃ断層用砂)

$$V = 0.903 \times 0.531 \times 2.800$$

$$= 1.343 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

アスファルト塊

$$t=3\text{cm} \quad V = 1.025 \times 0.030 \times 2.800$$

$$= 0.086 \text{ m}^3$$

土 留

必要なし

$$L = (1.025 + 2.800) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装復旧工

歩道As13型

$$A = 1.025 \times 2.800 - 0.440 \times 1.500 - \quad \times \quad - \quad^2 \pi / \quad = 2.210 \text{ m}^2$$

路盤復旧

M-30

$$A = 2.800 \times 1.025 - 0.550 \times 1.700$$

$$= 1.935 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

TA2

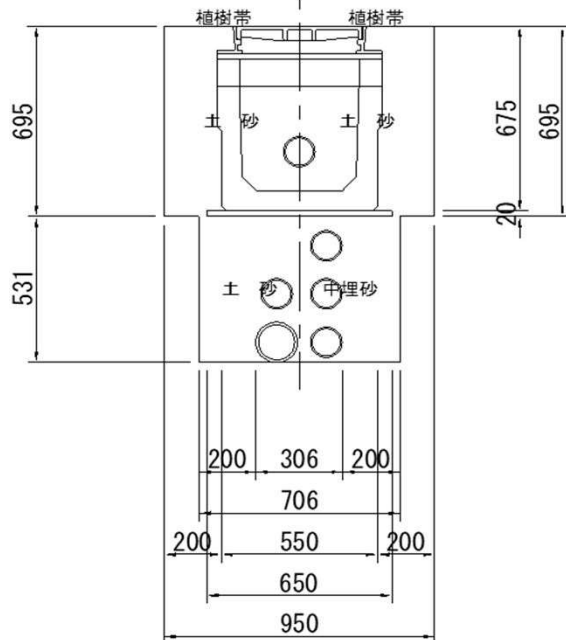
1 箇所当り

分岐樹T-A型 (400×380×1500)

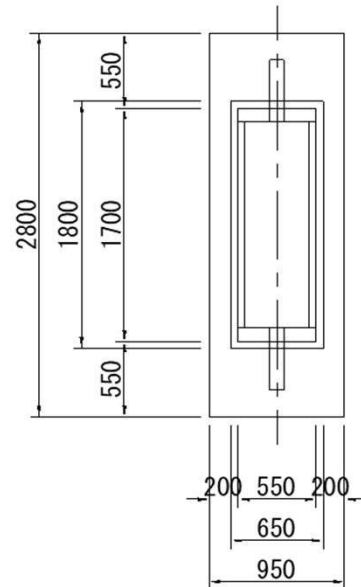
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工



平面図



諸条件入力

特殊部(W): 400 mm
特殊部(H): 380 mm

特殊部(L): 1,500 mm

端壁厚: 100 mm

起点側余掘幅: 550 mm

終点側余掘幅: 550 mm

工 種

規格・寸法

計 算 式

数 量

舗装版切断

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad L = (0.950 + 2.800) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装版破碎

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 2.800$$

$$= 0.000 \text{ m}^2$$

床 掘

土 砂
(機 械)

$$V = 0.950 \times 0.695 \times 2.800 + \quad \times \quad \times 1.800$$

$$+ 0.706 \times 0.531 \times 2.800 = 2.898 \text{ m}^3$$

路盤材なし

$$V = 0.950 \times 0.000 \times 2.800$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

埋 戻

土 砂
(発 生 土)

$$V = 0.950 \times 0.695 \times 2.800 - 0.550 \times 0.675 \times 1.700$$

$$- 0.650 \times 0.020 \times 1.800 - \quad^2 \pi / 4 \times \quad = 1.194 \text{ m}^3$$

中埋砂
(しゃ断層用砂)

$$V = 0.706 \times 0.531 \times 2.800$$

$$= 1.050 \text{ m}^3$$

建設廃材処理

植樹帯

$$t=0\text{cm} \quad V = 0.950 \times 0.000 \times 2.800$$

$$= 0.000 \text{ m}^3$$

土 留

必要なし

$$L = (0.950 + 2.800) \times 0$$

$$= 0.000 \text{ m}$$

舗装復旧工

植樹帯

$$A = 0.000 \times 2.800 - 0.440 \times 1.500 - \quad \times$$

$$- \quad^2 \pi / \quad = 0.000 \text{ m}^2$$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

SB1

1 箇所当り

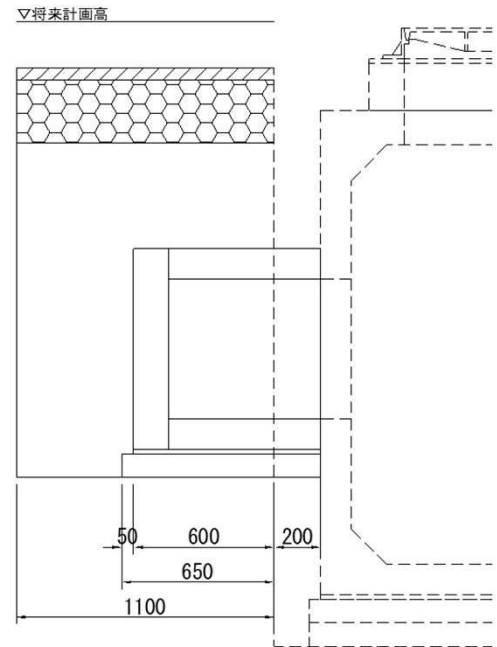
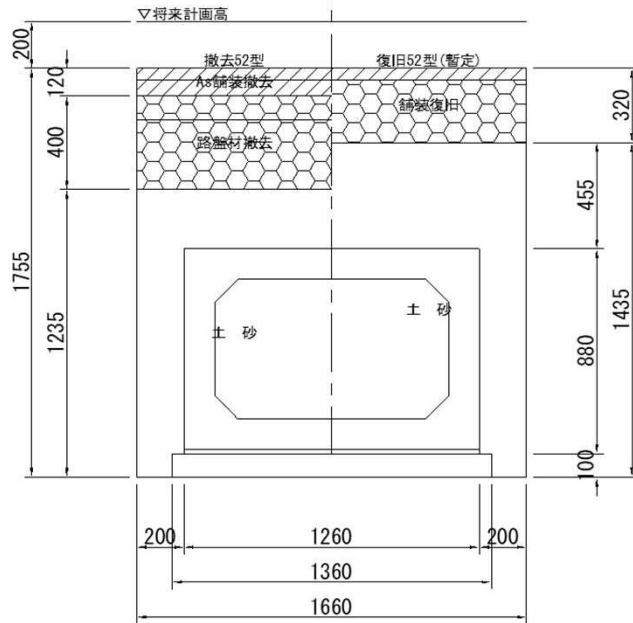
サイドボックス (1000×600×650, Co)

車道部 (一般部)

断面図

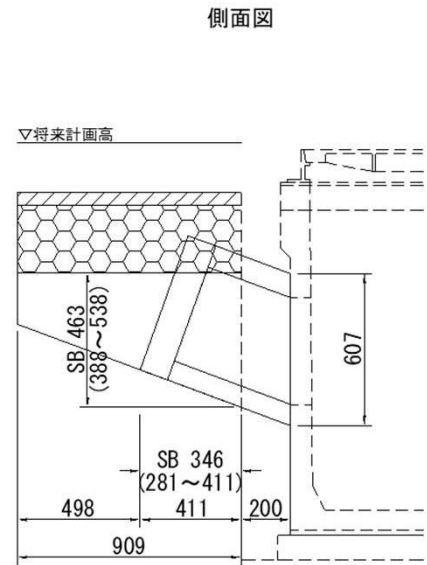
掘削工 埋戻工

側面図



工 種	規格・寸法	計 算 式	数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm} \quad L = (1.660 + 1.100) \times 2$	$= 5.520 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm} \quad A = 1.660 \times 1.100$	$= 1.826 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = 1.660 \times 1.235 \times 1.100 + \quad \times \quad \times \quad \times$	$= 2.255 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.660 \times 0.400 \times 1.100$	$= 0.730 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.660 \times 1.435 \times 1.100 - 1.260 \times 0.880 \times 0.800 \times 1$ $- 1.360 \times 0.100 \times 0.850 \times 1 =$	$= 1.618 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm} \quad V = 1.660 \times 0.120 \times 1.100$	$= 0.219 \text{ m}^3$
土 留	$1.5 < H \leq 2.0$	$L = (1.660 + 1.100) \times 2$	$= 5.520 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型	$A = 1.660 \times 1.100 - \quad \times \quad \times$	$= 1.826 \text{ m}^2$

1 箇所当り



工 種	規格・寸法	計 算 式	数 量
舗装版切断	車道As52型	$t=12\text{cm} \quad L = (1.480 + 0.909) \times 2$	$= 4.778 \text{ m}$
舗装版破碎	車道As52型	$t=12\text{cm} \quad A = 1.480 \times 0.909$	$= 1.345 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = 1.480 \times 0.173 \times 0.909 + \quad \times \quad \times \quad \times$	$= 0.233 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.480 \times 0.400 \times 0.909$	$= 0.538 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (発 生 土)	$V = 1.480 \times 0.373 \times 0.909 - 1.080 \times 0.463 \times 0.346 \times 1$ $\quad \quad \quad - \quad \quad \times \quad \quad \times \quad \quad \times$	$= 0.329 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=12\text{cm} \quad V = 1.480 \times 0.120 \times 0.909$	$= 0.161 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = (1.480 + 0.909) \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装復旧工	車道As52型(暫定)	$A = 1.480 \times 0.909 - \quad \times \quad \times$	$= 1.345 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

KHH1

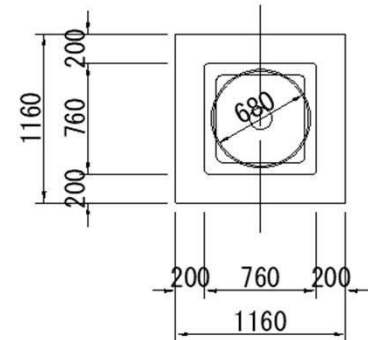
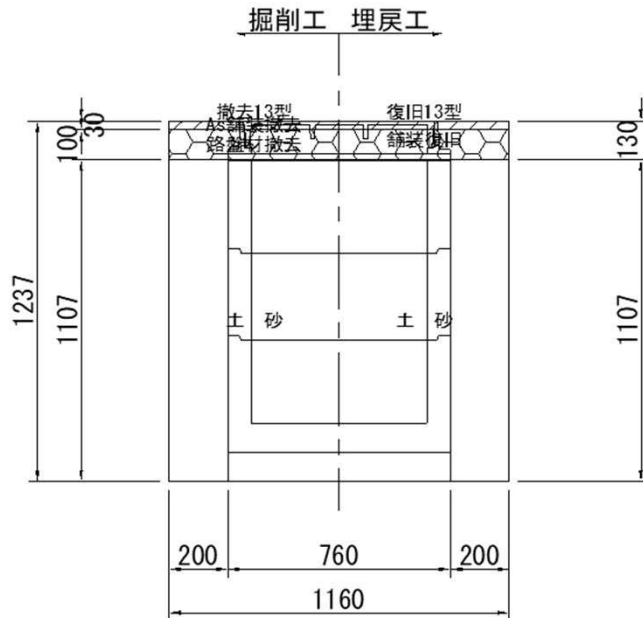
1 箇所当り

信号用ハンドホール(口600, 3段)

歩道部(一般部)

断面図

平面図



工 種	規格・寸法	計 算 式	数 量
舗装版切断	歩道As13型	$t=3\text{cm} \quad L = (1.160 + 1.160) \times 2$	$= 4.640 \text{ m}$
舗装版破碎	歩道As13型	$t=3\text{cm} \quad A = 1.160 \times 1.160$	$= 1.346 \text{ m}^2$
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = 1.160 \times 1.107 \times 1.160 + \quad \times \quad \times$	$= 1.490 \text{ m}^3$
	路盤材	$V = 1.160 \times 0.100 \times 1.160$	$= 0.135 \text{ m}^3$
埋 戻	土 砂 (しゃ断層用砂)	$V = 1.160 \times 1.107 \times 1.160 - 0.760 \times 1.107 \times 0.760$ $- 0.000 \times 0.000 \times 0.000 - \quad^2 \pi / 4 \times$	$= 0.850 \text{ m}^3$
建設廃材処理	アスファルト塊	$t=3\text{cm} \quad V = 1.160 \times 0.030 \times 1.160$	$= 0.040 \text{ m}^3$
土 留	必要なし	$L = (1.160 + 1.160) \times 0$	$= 0.000 \text{ m}$
舗装仮復旧工	歩道As13型	$A = 1.160 \times 1.160 - \quad \times \quad - \quad \times$ $- 0.680^2 \pi / 4 =$	$= 0.982 \text{ m}^2$
路盤復旧工	M-30	$A = 1.160 \times 1.160 - 0.760 \times 0.760$	$= 0.768 \text{ m}^2$

土工単位数量計算書〔特殊部〕

土工断面名

KHH2

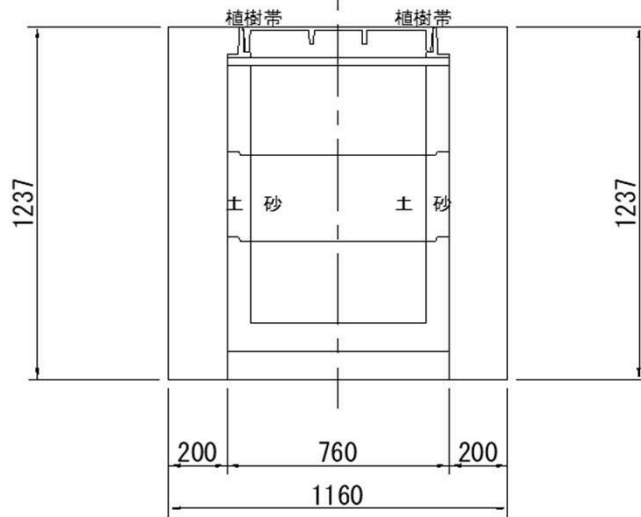
1 箇所当り

信号用ハンドホール(口600, 3段)

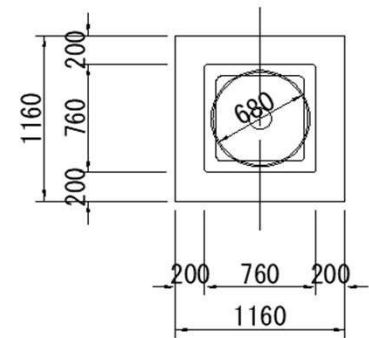
植樹帯

断面図

掘削工 埋戻工

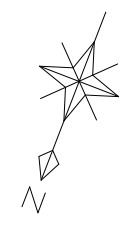
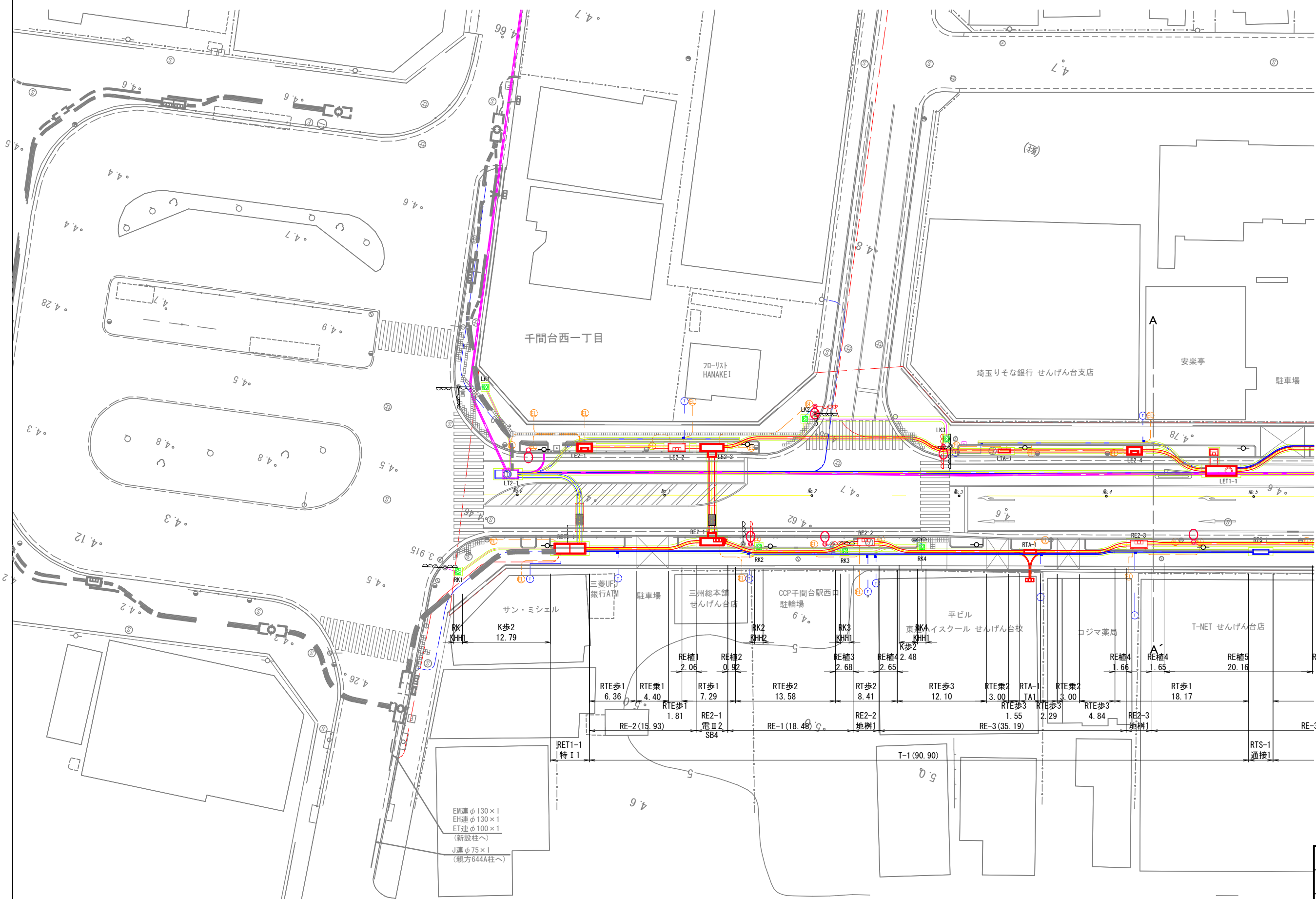


平面図



工 種	規格・寸法	計 算 式	数 量
舗装版切断	植樹帯	$t=0\text{cm} \quad L = (1.160 + 1.160) \times 0$	= 0.000 m
舗装版破碎	植樹帯	$t=0\text{cm} \quad A = 0.000 \times 1.160$	= 0.000 m ²
床 掘	土 砂 (機 械)	$V = 1.160 \times 1.237 \times 1.160 + \quad \times \quad \times$	= 1.665 m ³
	路盤材なし	$V = 1.160 \times 0.000 \times 1.160$	= 0.000 m ³
埋 戻	土 砂 (しゃ断層用砂)	$V = 1.160 \times 1.237 \times 1.160 - 0.760 \times 1.237 \times 0.760$ $- 0.000 \times 0.000 \times 0.000 - \quad^2 \pi / 4 \times$	= 0.950 m ³
建設廃材処理	植樹帯	$t=0\text{cm} \quad V = 1.160 \times 0.000 \times 1.160$	= 0.000 m ³
土 留	必要なし	$L = (1.160 + 1.160) \times 0$	= 0.000 m
舗装仮復旧工	植樹帯	$A = 0.000 \times 1.160 - 0.760 \times 0.760 - \quad \times$ $- \quad^2 \pi / 4 =$	= 0.000 m ²

土工平面図 (1) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

—	: 新設管路
- - -	: NTT譲渡管路
—	: NTT既設管路
○	: NTT既設マンホール
○	: NTT既設マンホール
○	: NTT譲渡マンホール
○	: NTT譲渡マンホール
□	: 新設・改造特殊部

凡例

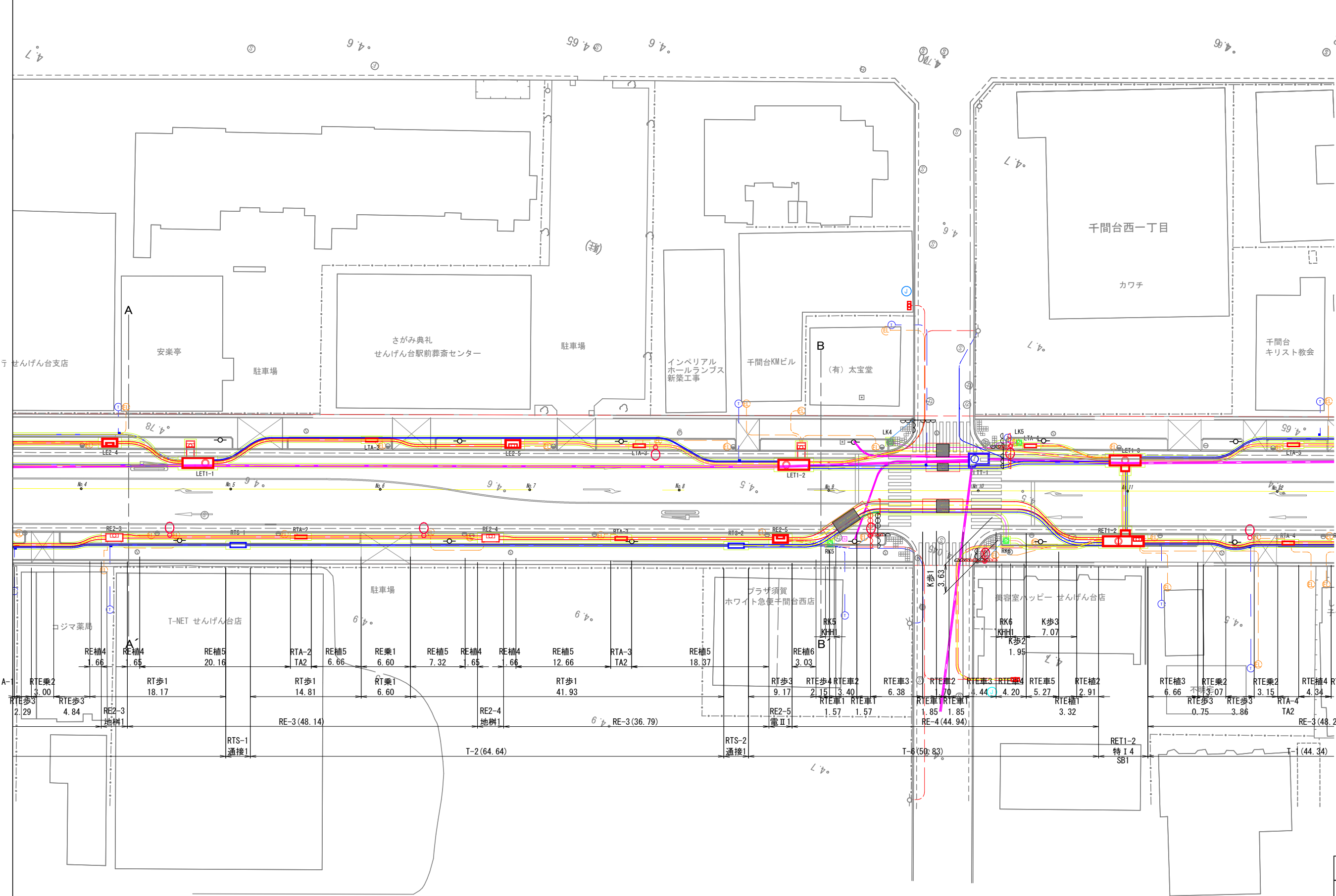
記号	名称
□	特殊部 I 型 (U型)
□	特殊部 I 型 (箱型)
□	電力 II 型 (U型)
□	電力 II 型 (箱型)
□	通信 II 型 (箱型)
□	通信接続樹
□	単独樹・通達樹 (NTT譲渡特殊部)
□	T-A樹
□	地上機器
E	電力管路
T	通信管路
T	連系管
T	引込み管
○	計画道路照明柱
○	本体施工
○	警察施工

凡例

記号	名称
○	車両用交通信号機
○	歩行者用交通信号機
○	車両感知器
□	既設道路照明柱
□	水道弁類
□	消防設備
□	下水マンホール・樹
□	東京ガス弁類
□	東電マンホール
□	NTTマンホール
□	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	土工平面図 (1) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

土工平面図 (2) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

—	新設管路
---	NTT譲渡管路
- - -	NTT既設管路
○	NTT既設マンホール
○	NTT既設マンホール
○	NTT譲渡マンホール
○	NTT譲渡マンホール
□	新設・改造特殊部

凡 例

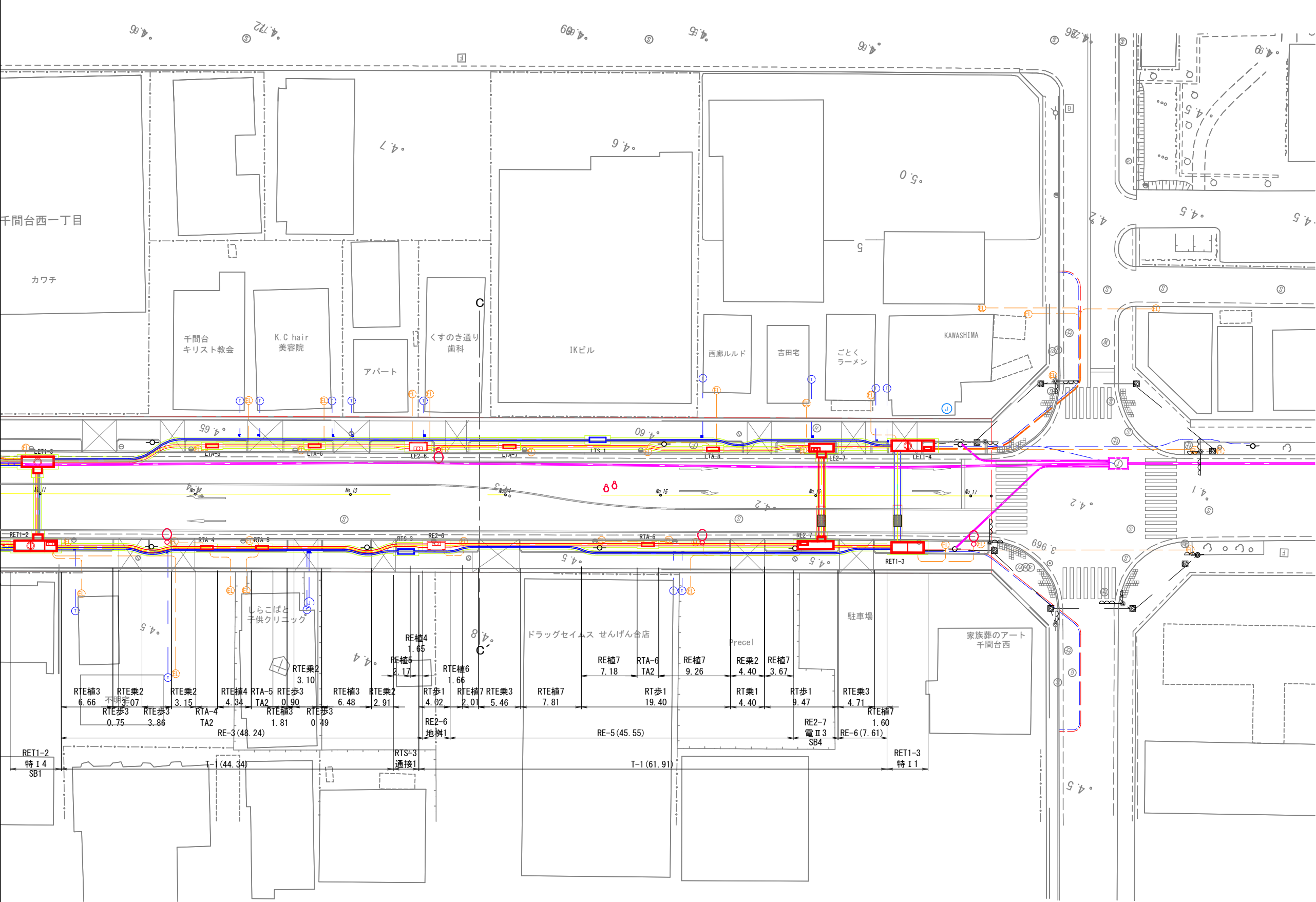
記 号	名 称
□	特殊部 I 型 (U型)
□	特殊部 II 型 (箱型)
□	電力 II 型 (U型)
□	電力 II 型 (箱型)
□	通信 II 型 (箱型)
□	通信接続機
□	単独側・通過側 (NTT譲渡特殊部)
□	T-A樹
□	地上機器
E	電力管路
T	通信管路
—	連系管
—	引込み管
○	計画道路照明柱
○	本体施工
○	警察施工

凡 例

記 号	名 称
○	車両用交通信号機
○	歩行者用交通信号機
○	車両感知器
□	既設道路照明柱
□	水道弁類
□	消防設備
□	下水マンホール・樹
□	東京ガス弁類
□	東電マンホール
□	NTTマンホール
□	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	土工平面図 (2) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

土工平面図 (3) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

	: 新設管路
	: NTT譲渡管路
	: NTT既設管路
	: NTT既設マンホール
	: NTT既設ハンドホール
	: NTT譲渡マンホール
	: NTT譲渡ハンドホール
	: 新設・改造特殊部

凡例

記号	名称
	特殊部 I 型 (U型)
	特殊部 II 型 (箱型)
	電力 II 型 (U型)
	電力 II 型 (箱型)
	通信 II 型 (箱型)
	通信接続樹
	単独樹・通過樹 (NTT譲渡特殊部)
	T-A樹
	地上機器
	電力管路
	通信管路
	連系管
	引込み管
	計画道路照明柱
	本体施工
	警察施工

凡例

記号	名称
	車両用交通信号機
	歩行者用交通信号機
	車両感知器
	既設道路照明柱
	水道弁類
	消防設備
	下水マンホール・樹
	東京ガス弁類
	東電マンホール
	NTTマンホール
	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	土工平面図 (3) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

4. 管 路 工

【4. 管路工】

数 量 計 算 書

電力管設置 (ECVPφ130)		
直管	233.01 + 9.16 =	242.17 m
曲管	51.23 + 4.47 =	55.70 m
ダクトスリーブ	20.00 + 7.00 =	27.00 個
管枕	332.00 + 22.00 =	354.00 個
電力管設置 (ECVPφ125)		
直管	25.27 =	25.27 m
曲管	13.95 =	13.95 m
ダクトスリーブ	2.00 =	2.00 個
管枕	54.00 =	54.00 個
電力管設置 (ECVPφ100)		
直管	781.94 + 0.45 =	782.39 m
曲管	182.73 + 3.23 =	185.96 m
ダクトスリーブ	74.00 + 7.00 =	81.00 個
管枕	763.00 =	763.00 個

【4. 管路工】

数 量 計 算 書

電力保安通信管設置 (VP [SUDⅡ] φ100)		
直管	238.96 + 4.99 =	243.95 m
曲管	54.38 + 3.85 =	58.23 m
ダクトスリーブ	18.00 + 3.00 =	21.00 個
管枕	348.00 + 12.00 =	360.00 個
通信管設置 (PVφ75)		
直管	19.62 =	19.62 m
ダクトスリーブ	7.00 =	7.00 個
管枕	20.00 =	20.00 個
通信管設置 (PVφ50)		
直管	219.80 + 9.81 =	229.61 m
曲管	97.65 + 0.00 =	97.65 m
ダクトスリーブ	14.00 + 2.00 =	16.00 個
管枕	360.00 + 10.00 =	370.00 個

【4. 管路工】

数 量 計 算 書

信号管設置 (PVφ75)		
直管	41.05 =	41.05 m
曲管	18.10 =	18.10 m
ダクトスリーブ	6.00 =	6.00 個
管枕	94.00 =	94.00 個
信号管設置 (FEPφ80)		
直管	133.20 =	133.20 m
ベルマウス	34.00 =	34.00 個
管路材設置工 (共用FA VPφ100)		
直管	254.81 =	254.81 m
曲管レス継手	34.00 =	34.00 個
ヤリトリ継手	4.00 =	4.00 個
ダクトスリーブ	8.00 =	8.00 個
管枕	144.00 =	144.00 個

【4. 管路工】数量計算書		
管路材設置工（ボディ管 VPφ150）		
直管	247.84 =	247.84 m
曲管レス継手	29.00 =	29.00 個
スライド管	4.00 =	4.00 個
ボルト固定式ロータス管	8.00 =	8.00 個
ダクトスリーブ	8.00 =	8.00 個
管枕	280.00 =	280.00 個
端末部用短管（SUφ50）	16.00 =	16.00 個
端末部用短管（SUφ30）	24.00 =	24.00 個

[illegible]

[illegible]

電力管管材算出表 ECVP(CCVP)φ125〔本線管〕

[illegible]

区 間	断面	区間値入力				総延長 ①×④	管路材数量														備 考
		区間長 ①	曲線長		条数 ④		直管 [L=5.0m]				曲管 [L=1.0m]				ダクトスリーブ		管枕 [ピッチ175]				
			5R ②	10R ③			区間長 ⑤ ①-②-③	控除長 ⑥ ⑩×⑧	直管 ⑦ ⑤-⑥	直管長 ④×⑦	5R ②×④		10R ③×④		設置端壁数 ⑧	総個数 ④×⑧	1断面当 ⑨	直管部 ⑦/2×④× ⑨	曲管部 (②+ ③)/1×④× ⑨		
											m	本	m	本						箇所	
起点 ~ 終点		m	m	m	条	m	m	m	m	m	m	本	m	本	箇所	個	個	個	個		
RET1-1 ~ RE2-1	RE-2	15.93	4.37		4	63.72	11.56	0.61	10.95	43.80	17.48	18	0.00	0	2	8	6	30	24		
RE2-1 ~ RE2-2	RE-1	18.48	6.43		3	55.44	12.05	0.61	11.44	34.32	19.29	20	0.00	0	2	6	4	24	24		
RE2-2 ~ RE2-3	RE-3(EL除く)	35.19	9.21		2	70.38	25.98	0.61	25.37	50.74	18.42	19	0.00	0	2	4	2	26	18		
RE2-2 ~ RTA-1	EL	20.60	4.71		1	20.60	15.89	0.61	15.28	15.28	4.71	5	0.00	0	2	2	1	8	5		
RTA-1 ~ RE2-3	EL	13.09	4.50		1	13.09	8.59	0.61	7.98	7.98	4.50	5	0.00	0	2	2	1	4	5		
RE2-3 ~ RE2-4	RE-3(EL除く)	48.14	2.52		2	96.28	45.62	0.61	45.01	90.02	5.04	6	0.00	0	2	4	2	46	6		
RE2-3 ~ RTA-2	EL	23.11	1.26		1	23.11	21.85	0.61	21.24	21.24	1.26	2	0.00	0	2	2	1	11	1		
RTA-2 ~ RE2-4	EL	23.53	1.26		1	23.53	22.27	0.61	21.66	21.66	1.26	2	0.00	0	2	2	1	11	1		
RE2-4 ~ RE2-5	RE-3(EL除く)	36.79	1.26		2	73.58	35.53	0.61	34.92	69.84	2.52	3	0.00	0	2	4	2	34	2		
RE2-4 ~ RTA-3	EL	15.62	1.26		1	15.62	14.36	0.61	13.75	13.75	1.26	2	0.00	0	2	2	1	7	1		
RTA-3 ~ RE2-5	EL	19.67	0.00		1	19.67	19.67	0.61	19.06	19.06	0.00	0	0.00	0	2	2	1	10	0		
RE2-5 ~ RET1-2	RE-4	39.84	13.95		4	159.36	25.89	0.61	25.28	101.12	55.80	56	0.00	0	2	8	6	78	84		
RET1-2 ~ RE2-6	RE-3(EL除く)	48.24	15.38		2	96.48	32.86	0.61	32.25	64.50	30.76	31	0.00	0	2	4	2	32	30		
RET1-2 ~ RTA-4	EL	18.79	6.70		1	18.79	12.09	0.61	11.48	11.48	6.70	7	0.00	0	2	2	1	6	7		
RTA-4 ~ RTA-5	EL	5.64	0.00		1	5.64	5.64	0.61	5.03	5.03	0.00	0	0.00	0	2	2	1	3	0		
RTA-5 ~ RE2-6	EL	20.81	8.69		1	20.81	12.12	0.61	11.51	11.51	8.69	9	0.00	0	2	2	1	6	9		
RE2-6 ~ RE2-7	RE-5(EL除く)	45.55	1.26		3	136.65	44.29	0.61	43.68	131.04	3.78	4	0.00	0	2	6	4	88	4		
RE2-6 ~ RTA-6	EL	25.42	1.26		1	25.42	24.16	0.61	23.55</												

電力管管材算出表 ECVP(GCVP)φ100[連系管・供給管]

[illegible]

[illegible][illegible]

保安通信管管材算出表 VP(SUD-Ⅱ)φ100〔連系管・供給管〕

[illegible]

通信管管材算出表 PVφ75〔連系管・供給管〕

[illegible]

通信管管材算出表 PV ϕ 50〔本線〕

[illegible]

通信管管材算出表 PVφ50〔連系管・供給管〕

区 間	断面	区間値入力				総延長 ①×④	管路材数量												備 考	
		区間長 ①	曲線長		条数 ④		直管 [L=5.0m]				曲管 [L=1.0m]				ダクトスリーブ		管枕 [ピッチ95]			
			5R ②	10R ③			区間長 ⑤ ①-②-③	控除長 ⑥ ⑧×⑩	直管 ⑦ ⑤-⑥	直管長 ④×⑦	5R ②×④		10R ③×④		設置端壁数 ⑧	総個数 ①×⑧	1断面当り ⑨	直管部 ⑦/2×④× ⑨		曲管部 (②+ ③)/1×④× ⑨
											m	本	m	本						
起点 ~ 終点		m	m	m	条	m	m	m	m	m	本	m	本	箇所	個	個	個	個		
RTS-2 ~ 親方629A	KD連	10.00			1	10.00	10.00	0.19	9.81	9.81	0.00	0	0.00	0	1	1	2	10	0	
RET1-3 ~ 新設柱	KD連				1									1	1				ダクトスリーブ取付	
									</											

通信管管材算出表 PVφ75〔信号管〕

区 間	断面	区間値入力				総延長 ①×④	管路材数量													備 考
		区間長 ①	曲線長		条数 ④		直管 [L=5.0m]				曲管 [L=1.0m]				ダクトスリーブ		管枕 [ピッチ130]			
			5R ②	10R ③			区間長 ⑤	控除長 ⑥	直管 ⑦	直管長	5R ②×④	10R ③×④	設置端壁数 ⑧	総个数 ①×⑧	1断面当 ⑨	直管部 ⑦/2×④× ⑨	曲管部 (②+ ③)/1×④×			
起点 ～ 終点		m	m	m	条	m	m	m	m	m	本	m	本	箇所	個	個	個	個		
															控除長 ⑩	0.190		@2.00	@1.00	
RET1-1 ～ RE2-1	信号管	15.93	4.00		1	15.93	11.93	0.38	11.55	11.55	4.00	4	0.00	0	2	2	1	6	4	
RK5 ～ RK6	信号管	1.69	1.00		2	3.38	0.69	0.19	0.50	1.00	2.00	2	0.00	0	1	2	3	0	6	
		10.35	2.91		2	20.70	7.44	0.00	7.44	14.88	5.82	6	0.00	0	0	0	3	24	18	
		10.14	3.14		2	20.28	7.00	0.19	6.81	13.62	6.28	7	0.00	0	1	2	3	18	18	

[illegible]

66.60

133.20

34

共用FA管管材算出表 FA-Vφ100〔曲管レス継手式〕

[illegible]

〔従来式ロータス管,曲管レス継手式〕

[illegible]

〔従来式ロータス管,曲管レス継手式〕

区 間	断面	区間長 ①	さや管(SU)管路材数量								備 考
			φ50	φ30	控除長		φ50		φ30		
			条数 ⑬	条数 ⑭	端末部 ⑮ 7×0.455	短管部 ⑯ 7×1.1	総延長 ((①-⑤-⑥)×⑬)	端末部用短管 7×⑭	総延長 ((①-⑤-⑥)×⑭)	端末部用短管 7×⑮	
起点 ～ 終点		m	条	条	m	m	m	個	m	個	
RET1-1 ~ RTS-1	T-1	90.90	2	3	0.91	2.20	175.58	4	263.37	6	
RTS-1 ~ RTS-2	T-2	64.64	2	3	0.91	2.20	123.06	4	184.59	6	
RET1-2 ~ RTS-3	T-1	44.34	2	3	0.91	2.20	82.46	4	123.69	6	
RTS-3 ~ RET1-3	T-1	61.91	2	3	0.91	2.20	117.60	4	176.40	6	
合 計		261.79					498.70	16	748.05	24	
			さや管 条数別 合 計			φ50×2, φ30×3	498.70	16	748.05	24	
						φ50×0, φ30×8	0.00	0	0.00	0	

5. 管 路 付 属 工

数量計算書

[illegible]

区 間	区間長	断面	管路幅 mm	同一管路幅区間延長 ①			控除延長 ②				設置延長 ③ Σ①-Σ② m	埋設シート数量				備 考
				(1) m	(2) m	(3) m	起点端壁 m	終点端壁 m	防護板 m	その他 m		W=400		W=600		
												列数 ④	③×④ m	列数 ④	③×④ m	
起点 ～ 終点											列	m	列	m		
RET1-1 ～ RE2-1	15.93	T-1+RE-2	541	11.41			0.15				11.26	0	0.00	1	11.26	
		RE-2	322	2.71				0.15			2.56	1	2.56	0	0.00	
		T-1	165	7.29							7.29	1	7.29	0	0.00	
RE2-1 ～ RE2-2	18.48	RE-1	322	1.57			0.15				1.42	1	1.42	0	0.00	
		T-1+RE-1	541	13.58							13.58	0	0.00	1	13.58	
		RE-1	481	3.33				0.10	2.30		0.93	0	0.00	1	0.93	
		T-1	306	8.41							8.41	1	8.41	0	0.00	
RE2-2 ～ RTA-1	20.60	RE-3	481	3.30			0.10		2.00		1.20	0	0.00	1	1.20	
		T-1+RE-3	541	17.30				0.10	2.00		15.20	0	0.00	1	15.20	
		T-1	165	1.50							1.50	1	1.50	0	0.00	
RTA-1 ～ RE2-3	13.09	T-1+RE-3	541	10.78			0.10		2.00		8.68	0	0.00	1	8.68	
		RE-3	481	2.31				0.10	2.00		0.21	0	0.00	1	0.21	
RE2-3 ～ RTA-2	23.11	RE-3	481	2.30			0.10		2.00		0.20	0	0.00	1	0.20	
		RE-3	306	20.81				0.10	2.00		18.71	1	18.71	0	0.00	
～ RTS-1		T-1	165	18.82				0.10			18.72	1	18.72	0	0.00	
RTA-2 ～ RE2-4	23.53	RE-3	306	21.23			0.10		2.00		19.13	1	19.13	0	0.00	
		RE-3	481	2.30				0.10	2.00		0.20	0	0.00	1	0.20	
RE2-4 ～ RTA-3	15.62	RE-3	481	2.31			0.10		2.00		0.21	0	0.00	1	0.21	
		RE-3	306	13.31				0.10	2.00		11.21	1	11.21	0	0.00	
RTA-3 ～ RE2-5	19.67	RE-3	306	19.67			0.10	0.15	2.00		17.42	1	17.42	0	0.00	
RTS-1 ～ RTS-2	64.64	T-2	165	64.64			0.10	0.10			64.44	1	64.44	0	0.00	
RE2-5 ～ RET1-2	44.94	RE-4	495	3.68			0.15		3.53		0.00	0	0.00	1	0.00	
RTS-2 ～ RET1-2	50.83	T-6	345	9.82			0.10				9.72	1	9.72	0	0.00	
		T-6+RE-4	696	2.15					0.57		1.58	2	3.16	0	0.00	
		T-6+RE-4	1,397	26.31							26.31	0	0.00	0	0.00	
		T-6+RE-4	696	8.59							8.59	2	17.18	0	0.00	
		T-6+RE-4</														

114.13

[illegible]

合計

82.25

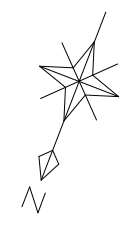
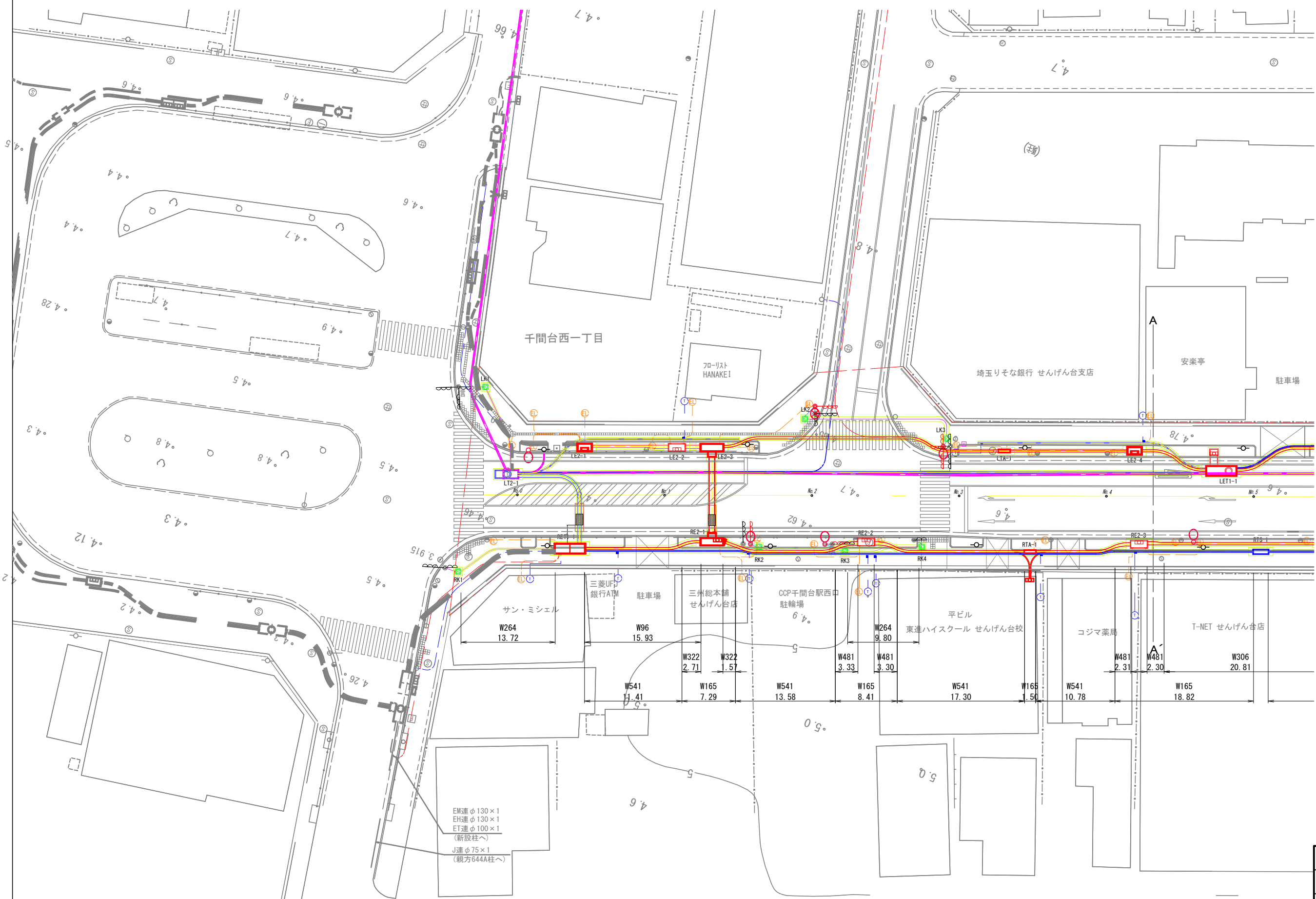
121.75

防護鉄板調書(本線管・信号管)

[illegible]

[illegible][illegible]

埋設シート平面図 (1) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

	: 新設管路
	: NTT譲渡管路
	: NTT既設管路
	: NTT既設マンホール
	: NTT既設マンホール
	: NTT譲渡マンホール
	: NTT譲渡マンホール
	: 新設・改造特殊部

凡例

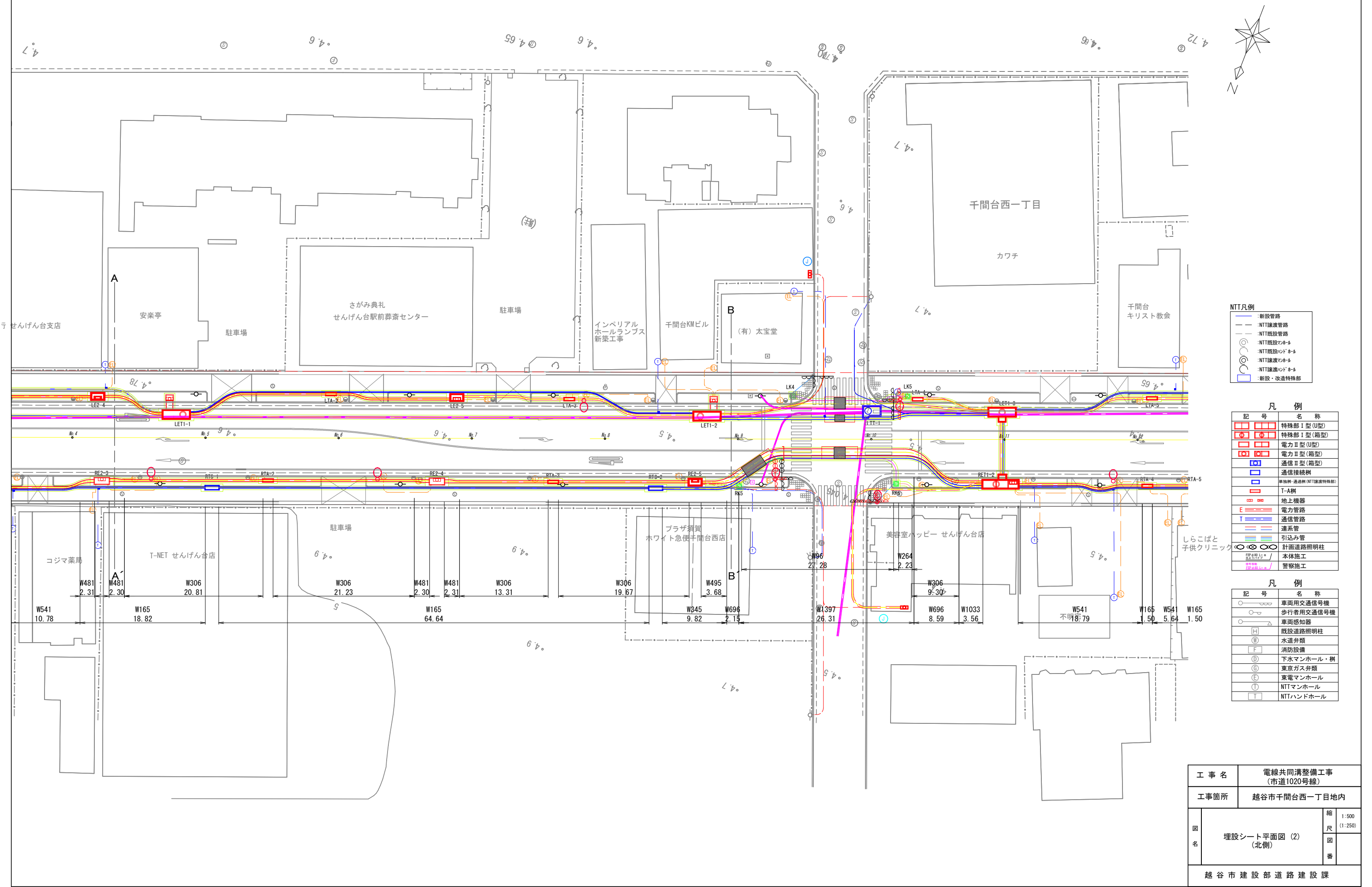
記号	名称
	特殊部 I 型 (U型)
	特殊部 I 型 (箱型)
	電力 II 型 (U型)
	電力 II 型 (箱型)
	通信 II 型 (箱型)
	通信接続樹
	単独樹・通達樹 (NTT譲渡特殊部)
	T-A樹
	地上機器
	電力管路
	通信管路
	連系管
	引込み管
	計画道路照明柱
	本体施工
	警察施工

凡例

記号	名称
	車両用交通信号機
	歩行者用交通信号機
	車両感知器
	既設道路照明柱
	水道弁類
	消防設備
	下水マンホール・樹
	東京ガス弁類
	東電マンホール
	NTTマンホール
	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	埋設シート平面図 (1) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

埋設シート平面図 (2) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

—	新設管路
---	NTT譲渡管路
---	NTT既設管路
○	NTT既設マンホール
○	NTT既設マンホール
○	NTT譲渡マンホール
○	NTT譲渡マンホール
□	新設・改造特殊部

凡 例

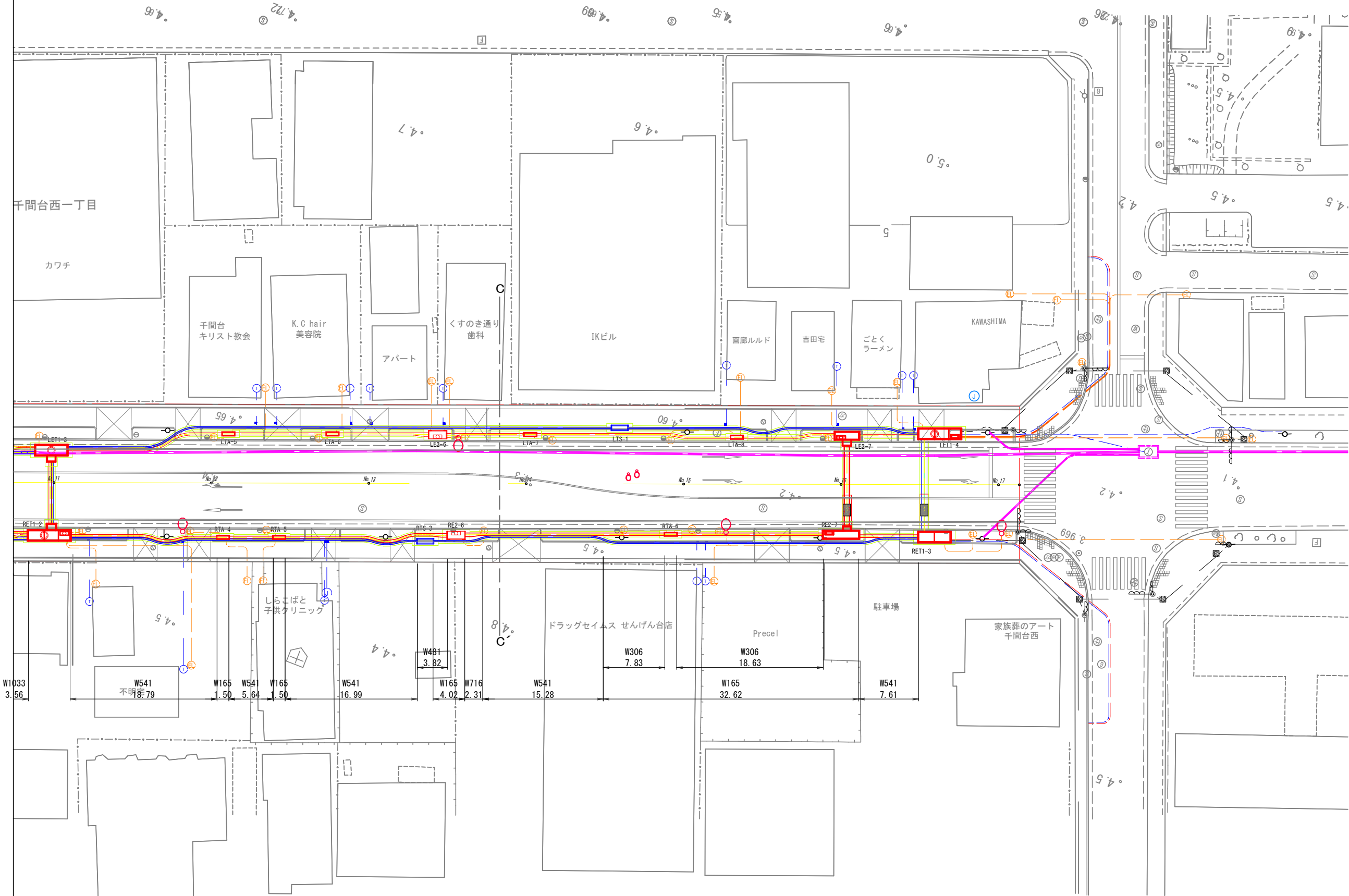
記 号	名 称
□	特殊部 I 型 (U型)
□	特殊部 II 型 (箱型)
□	電力 II 型 (箱型)
□	電力 II 型 (箱型)
□	通信 II 型 (箱型)
□	通信接続機
□	単独樹・通過樹 (NTT譲渡特殊部)
□	T-A樹
□	地上機器
E	電力管路
T	通信管路
—	連系管
—	引込み管
○	計画道路照明柱
○	本体施工
○	警察施工

凡 例

記 号	名 称
○	車両用交通信号機
○	歩行者用交通信号機
○	車両感知器
□	既設道路照明柱
□	水道弁類
□	消防設備
□	下水マンホール・樹
□	東京ガス弁類
□	東電マンホール
□	NTTマンホール
□	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	埋設シート平面図 (2) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

埋設シート平面図 (3) S=1:500 (1:250)
(北側)



NTT凡例

—	新設管路
- - -	NTT譲渡管路
- - -	NTT既設管路
○	NTT既設マンホール
○	NTT既設ハンドホール
○	NTT譲渡マンホール
○	NTT譲渡ハンドホール
□	新設・改造特殊部

凡 例

記 号	名 称
□	特殊部 I 型 (U型)
□	特殊部 II 型 (箱型)
□	電力 II 型 (U型)
□	電力 II 型 (箱型)
□	通信 II 型 (U型)
□	通信 II 型 (箱型)
□	通信接続樹
□	単独樹・通過樹 (NTT譲渡特殊部)
□	T-A樹
□	地上機器
E	電力管路
T	通信管路
—	連系管
—	引込み管
○	計画道路照明柱
○	本体施工
○	警察施工

凡 例

記 号	名 称
○	車両用交通信号機
○	歩行者用交通信号機
○	車両感知器
□	既設道路照明柱
□	水道弁類
□	消防設備
□	下水マンホール・樹
□	東京ガス弁類
□	東電マンホール
□	NTTマンホール
□	NTTハンドホール

工 事 名		電線共同溝整備工事 (市道1020号線)	
工事箇所		越谷市千間台西一丁目地内	
図 名	埋設シート平面図 (3) (北側)	縮 尺	1:500 (1:250)
		図 番	
越 谷 市 建 設 部 道 路 建 設 課			

[illegible]

6. 本体工

特殊部設置工【セメントコンクリート製】

[illegible]

特殊部設置工【レジンコンクリート製】

種 別	規格・寸法	特殊 部 箇所 数	特殊部 基礎 箇所数	基礎工単位数量		基礎工数量		備 考
				基礎碎石	敷モルタル	基礎碎石	敷モルタル	
		①	②	③	①×②	①×③		
箇所	箇所	m ² /箇所	m ² /箇所	m ²	m ²			
特殊部Ⅱ型(電力)横断用直上1基	U型 900x1200x3000(レジン)	1	1	0.499	0.088	0.499	0.088	RE2-1
特殊部Ⅱ型(電力)横断用直上1基	U型 900x1200x4500(レジン)	1	1	0.610	0.110	0.610	0.110	RE2-7
斜型サイドボックス	900x400x427(レジン)	2						RE2-1,RE2-7
斜型サイドボックス	620x700(レジン)	1						RE2-1

鉄蓋設置工

種 別	規格・寸法	蓋数量	蓋舗装面積		備 考
			単位量	面積	
		組	m ² /箇所	m ²	
鋳鉄丸蓋	φ 750(車道用)	1	0.000	0.000	RET1-2
特殊部Ⅰ型用	1200x4000(歩道-As舗装)	2	0.000	0.000	RTE1-1,RET1-3
特殊部Ⅱ型(電力)直上1基用	900x1800(歩道用-As舗装)	1	0.000	0.000	RE2-5
特殊部Ⅱ型(電力)直上1基用	900x3000(歩道用-As舗装)	1	0.000	0.000	RE2-1
特殊部Ⅱ型(電力)直上1基用	900x4500(歩道用-As舗装)	1	0.000	0.000	RE2-7
地上機器柵(浅)直上1基用	900x2200(歩道用-As舗装)	4	0.000	0.000	RE2-2,RE2-3,RE2-4,RE2-6
通信接続柵用	500x2000(歩道用-As舗装)	3	0.000	0.000	RTS-1,RTS-2,RTS-3
分岐柵T-A型用	400x1500(歩道用-As舗装)	6	0.000	0.000	RTA-1~6
地上機器部仮蓋	1095x445	8	0.000	0.000	RET1-2,RE2-1~7
信号ハンドホール用蓋	φ 650(歩道-As舗装)	6	0.000	0.000	RK1~6
合 計		33		0	

7. 安全施設工

8. 舗装工

9. 支障物撤去工

【9. 支障物撤去工】			数 量 計 算 書		
街路樹撤去工（L）					
高木伐採・伐根（60cm以上90cm未満）	平面図より	=	5.00	本	
高木伐採・伐根（90cm以上120cm未満）	平面図より	=	20.00	本	
高木伐採・伐根（120cm以上150cm未満）	平面図より	=	2.00	本	
低木伐採・伐根（30cm以上60cm未満）	平面図より	=	270.00	m2	
廃材処分					
廃材処分（枝葉、根）	8.39 + 8.08 + 19.28	=	35.75	m3	
	比重0.47				
高木運搬（枝葉）	(8.39 + 8.08) × 0.47	参考運搬距離5.2km =	7.74	t	
	比重0.47				
高木運搬（幹）	22.68 × 0.47	参考運搬距離8.9km =	10.66	t	
低木運搬	31.5 / 100.0 = 0.32				
	見積りより100㎡あたり1台	参考運搬距離5.2km	1.00	台	
造園修景積算マニュアル H24.10改訂（森林家必携）					
$V = \pi / 4 \times d^2 \times h \times f$					
V : 立木材積(m3) d : 胸高直径(m) 幹周平均値 1.02m 幹周より直径算出 0.57m h : 樹高 f : 係数(0.6517)					
$3.14 \div 4 \times 0.57^2 \times 5 \times 0.65 = 0.84 \text{ m3/本}$					
$0.84 \times 27 = 22.68 \text{ m3}$					
バイオマス拡大係数:1.37 地上部に対する地下部の比率 0.26 地上部木材材料(幹、枝葉を含めた、地位上部全体の体積) $22.68 \times 1.37 = 31.07 \text{ m3}$					
地下部(根の体積) $31.07 \times 0.26 = 8.08 \text{ m3}$					
【埼玉県】道路設計の手引き 道路編 R2.3					
$V = 0.5 \times (\text{葉張り})^2 \times \text{樹高}$					
$0.5 \times 0.7^2 \times 0.6 = 0.15 \text{ m3/1.5mあたり}$					
$0.15 \times 192.8 / 1.5 = 19.28 \text{ m3}$					
$A = 0.5 \times 0.7^2 \times 192.8 / 1.5 = 31.50 \text{ m2}$					